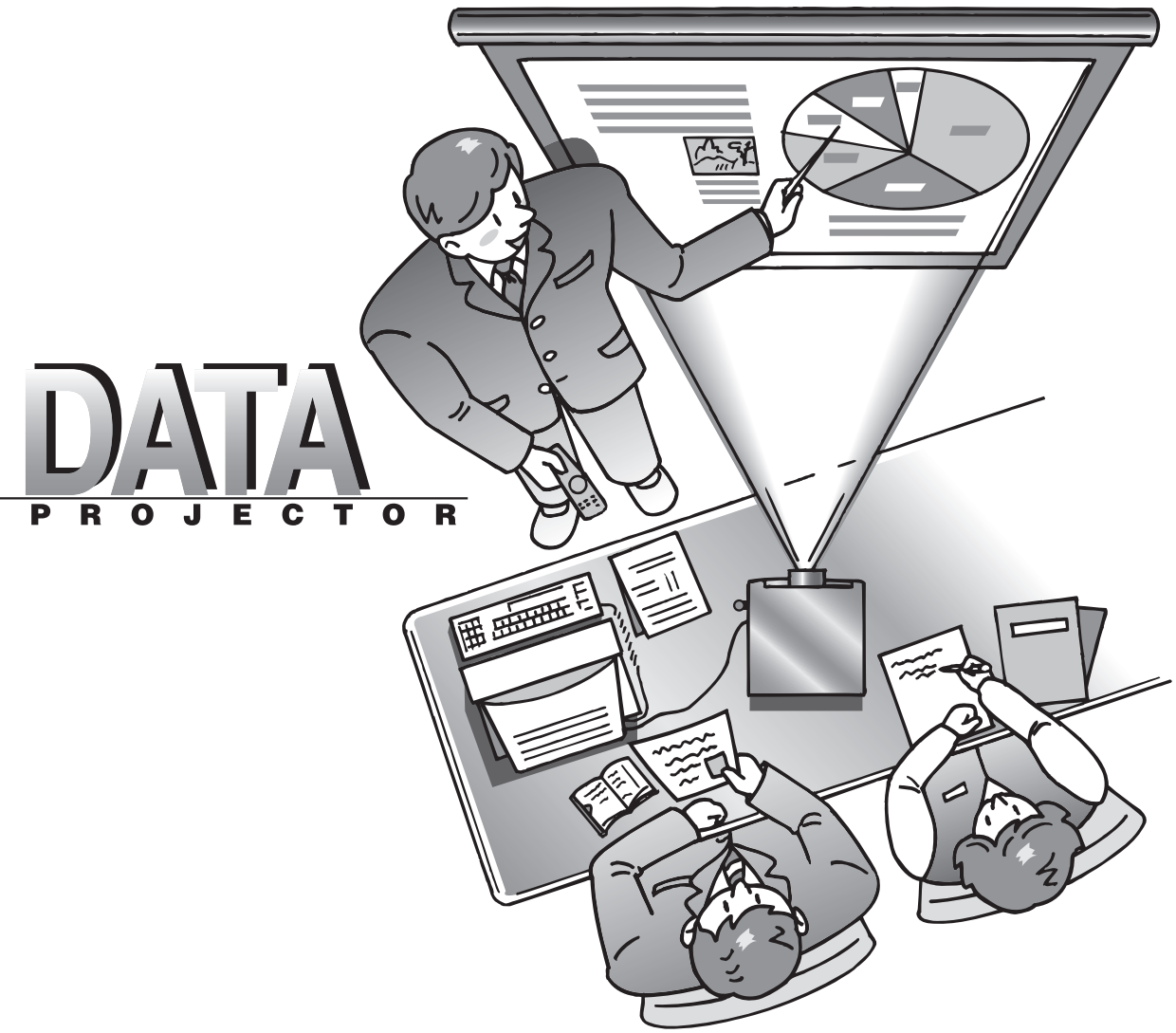
MITSUBISHI

三菱データプロジェクター

形名

LVP-XD530

取扱説明書



このたびは三菱データプロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。

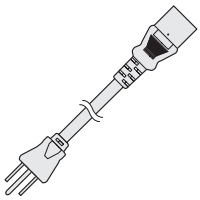
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

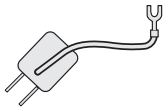
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する (このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。)

■電源関係

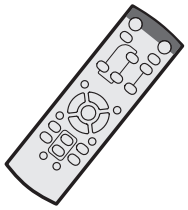


電源コード

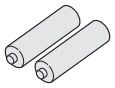


変換アダプタ

■リモコン関係

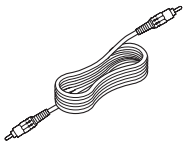


リモコン

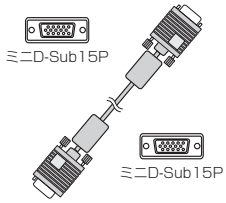


単三乾電池(2本)

■映像関係



ビデオケーブル



RGB信号ケーブル

■ワイヤレス接続関係

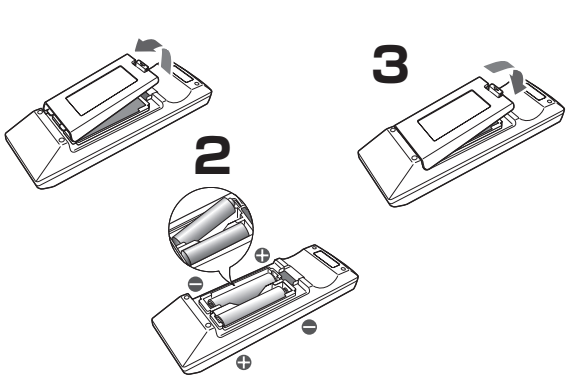
アンテナ

■その他

・レンズキャップ
・取扱説明書／クイックスタートアップ
・保証書
・三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内
・ソフトキャリングケース
・ワイヤレス接続クイックリファレンス

● 付属の電源コード、変換アダプタは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる



1 リモコン裏面のフタをはずす

2 乾電池の(+)、(−)をよく確かめて、(−)側から正しく入れる

● 乾電池を(+)側から入れると、(−)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。

3 裏面のフタを付ける

● 乾電池は、単三乾電池(AA、R6)を2本お使いください。
● リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

⚠注意

●電池は、8ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります(電池に表示されている注意事項もお読みください)。
●このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
●本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
●J55022 クラス B装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のRGB信号ケーブルをご使用ください。
●本機は必ず接地してください。

もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください 5〜9
各部のなまえ 10、11
本体のなまえ 10、11
リモコンのなまえ 11
リモコンの使いかた 12

映像を見る

コンピュータの映像を見る 13〜18
A. コンピュータと接続する 13、14
B. 電源コードを差し込む 14
C. 投写する 15〜18
プレゼンテーションを演出する 19、20
リモコンをコンピュータのページアップ・ダウンキーとして使う(ページアップ・ダウン) 19
映像と音声を一時的に消す(AVミュート) 19
画面を拡大して見る(MAGNIFY) 20
起動時およびミュート時などの画面を変更する 20
ビデオ機器の映像を見る 21〜24
A. ビデオ機器と接続する 21、22
B. 電源コードを差し込む 22
C. 投写する 22〜24

ワイヤレスで映像を見る

ワイヤレスで映像を見る 25〜31
A. アンテナを接続する 25
B. 電源コードを差し込む 25
C. 電源を入れる・ピントを調整する 25、26
D. 入力を切り換える 26
E. ワイヤレス接続する 27
F. 接続ソフトウェアをインストールする 28、29
G. 投写する 29
有線LAN接続するには 30
うまく接続できないときは 31
接続ソフトウェアの使いかた 32〜34
投写を一時停止する・再開する 32
一時停止中の投写を更新する 32
投写を停止する・開始する 32
接続ソフトウェアを終了する 32
その他の操作 33、34
管理画面の使いかた 35〜39
接続ソフトウェアをダウンロードする 35
投写画面を選択する(カンファレンスモード) 35
言語を切り換える 35、36
プロジェクターを設定する 36〜39
接続ソフトウェアをアンインストールする 40

設定・調整する

メニューを使って設定する 41〜46
メニュー遷移図 41
メニュー設定のしかた 42
メニューを消すときは 42
メニューで設定できること 43〜46
映像を調整する 47、48
映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト) 47
白の色合いを調整する(色温度の詳細設定) 47
色を調整する(色の濃さ、色合い) 47
映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス) 47
スクリーン(壁色)に合わせた色の調整をする 47
独自の明るさと色合いを設定する(カラーエンハンサーの詳細説明) 48
コンピュータ映像の調整 48

もくじ(つづき)

その他	パスワードを設定する	49
	設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた	50
	光源ランプを交換する	51～53
	故障かなと思ったら	54～57
	索引	58
	端子について	58
	仕様	59、60
	別売品	59
	接続できる信号の種類	60
	保証とアフターサービス	61
	インジケーターの見かた	裏表紙

著作権について

- DLP® (Digital Light Processing®)、DMD、BrilliantColor® は、米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標、または商品名です。
- Pentiumは、インテルコーポレーションまたはその子会社の米国およびその他の国における登録商標、または商標、または商品名です。
- Macintoshは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、本書に記載のメーカ名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- アスペクト比の切り換えについて
  - 本機はアスペクト比切り換え機能(24ページ)を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
  - 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください	絶対に水にぬらさないでください
絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

⚠ 警告

故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

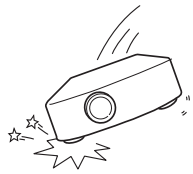
プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

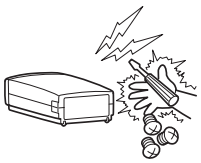


使用禁止

火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

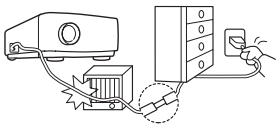


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない

禁止

金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

禁止

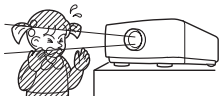
内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠警告

次のようなことはしない(つづき)

レンズをのぞかない



禁止

光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

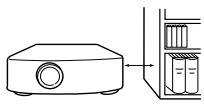
使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

禁止

吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



禁止

吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

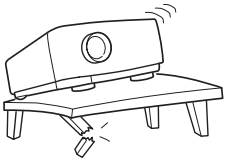
光源ランプを交換する場合、別売の専用光源ランプに付属されているランプユニット交換用工具以外は使用しない

他の工具を使用すると故障の原因となります。

禁止

次のような場所に置かない

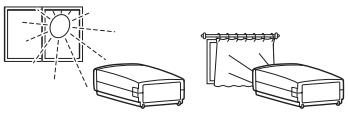
不安定な場所には置かない



禁止

(特に上下逆さまに置いた状態で)ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

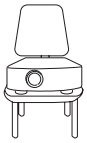
直射日光の当たる場所に置かない
レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



禁止

火災や故障の原因となります。

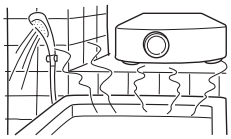
ソファー、椅子などの上に置かない



禁止

吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

風呂場では使わない

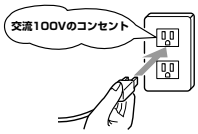


水場での使用禁止

火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う



交流100V

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

可燃性の溶剤(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを近くで使用しない

禁止

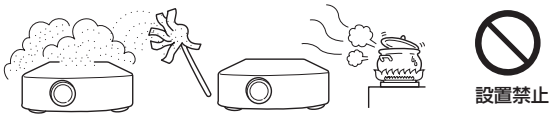
ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

⚠注意

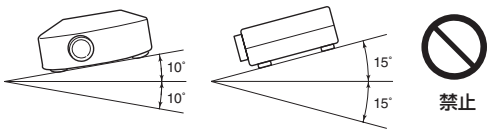
次のような場所には置かない

設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具や加湿器の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所

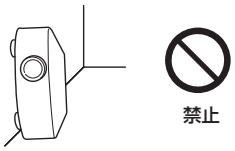


傾けた状態で動作させない



傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。
左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

立てた状態で置かない

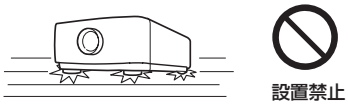


倒れて、けがや故障の原因となります。

重いものを置かない、踏み台にしない

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

ワックスのかかった床に直接置かない



床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

電源コード・プラグについて

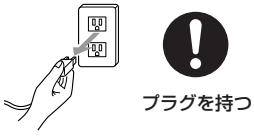
接続したまま移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠注意

乾電池の取り扱いについて

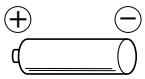
新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。

禁止

分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。

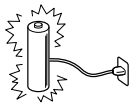
禁止

プラス(＋)とマイナス(－)の向きを正しく入れる。



正しく入れる

乾電池を充電しない。
充電式の電池は使用しない。



禁止

- 乾電池は、(－)側から入れてください。
  乾電池を(＋)側から入れると、(－)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。
- 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。

ワイヤレスで使用するとき

次の電波を利用する機器の近くでは使用しない

- 電子レンジ
- 産業・科学・医療機器
- 特定小電力無線局
- 構内無線局

禁止

電波の干渉により、通信速度が遅くなったり、通信できなくなる可能性があります。

指定された国以外に持ち込まない

このデータプロジェクターは、2.4GHzの電波を使用します。指定された国以外に持ち込むと、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

禁止

- お使いになる場所によっては、電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり、通信できなくなることがあります。
  特に、鉄筋、金属、コンクリートなどは、電波を通さないため、ご利用の際は注意してください。
- このデータプロジェクターは2.4GHzの電波を使用しますが、国や地域によって、使用できるチャンネル(実際の周波数範囲を複数に分けたもの)は異なります。

⚠注意

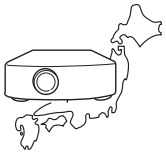
その他

1年に一度は内部の掃除を依頼する

内部掃除

三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむり等により内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災や故障および、光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

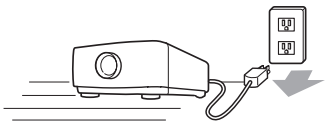
このデータプロジェクターは日本国内専用です



日本専用

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This Data projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

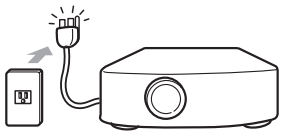
ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ（待機状態）にします。**約90秒間**待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
スタンバイにして約90秒間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



プラグを抜く

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

禁止

天吊り時のランプ交換は、ランプユニット交換用工具を使用してください

ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。

注意

海抜1500m以上での使用は避ける

海抜1500m以上での使用は、製品の寿命に影響する恐れがあります。

注意

結露した状態で使用しない

結露した状態で使用すると、故障やその他の不具合が発生する原因となることがあります。

禁止

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

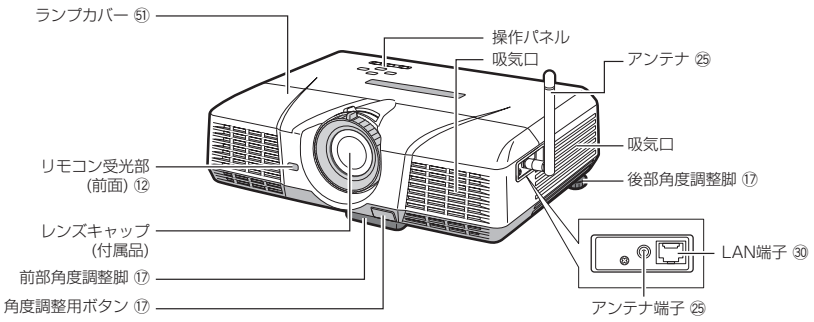
やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

接触禁止

各部のなまえ

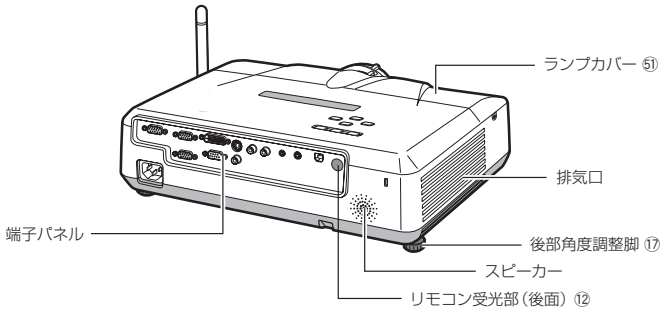
本体のなまえ（〇は参照ページ）

本体

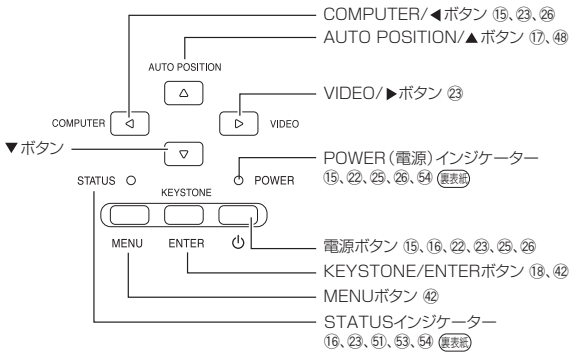


⚠注意

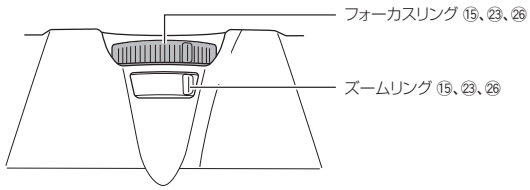
使用した直後、光源ランプは高温になっています。交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。



操作パネル(天面)

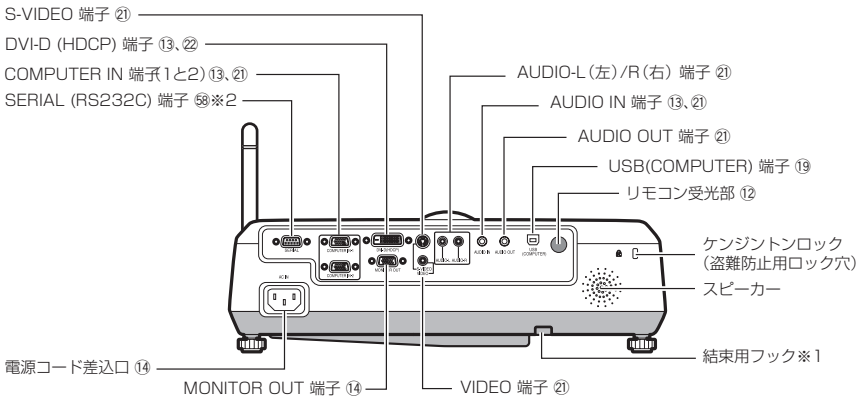


レンズ側



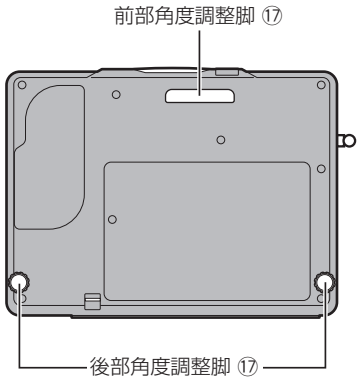
● COMPUTER、VIDEO、AUTO POSITIONボタンは、メニュー表示中、台形補正表示中、パスワード入力中にはそれぞれ、◀、▶、▲ボタンとしてはたらきます。

端子パネル部

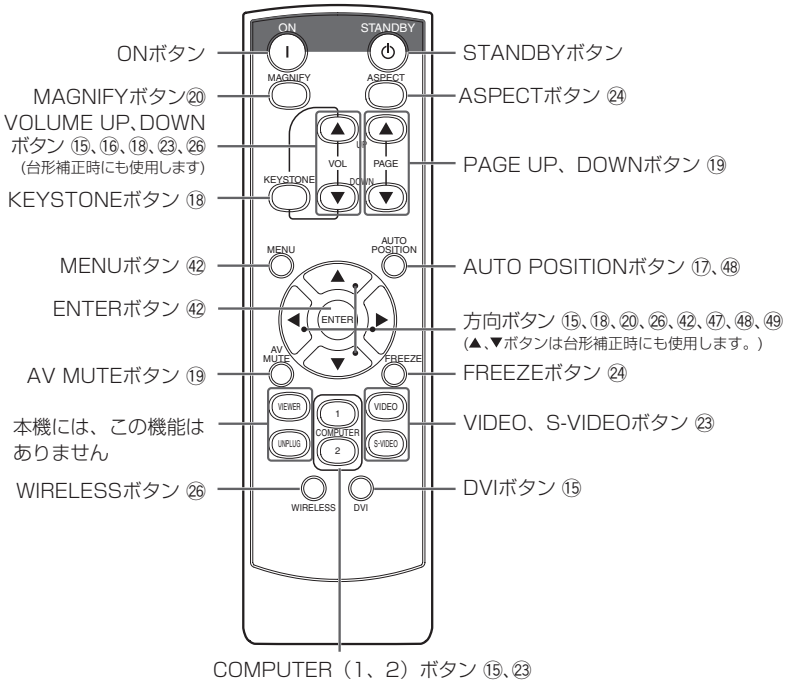


※1 チェーン等で結束できます。
※2 コンピュータで本機を制御する時に使用します。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターに御相談ください。

底面部



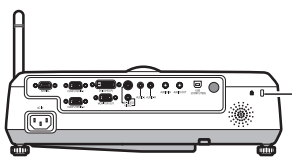
リモコンのなまえ（○は参照ページ）



ケンジントンロック（盗難防止用ロック）について

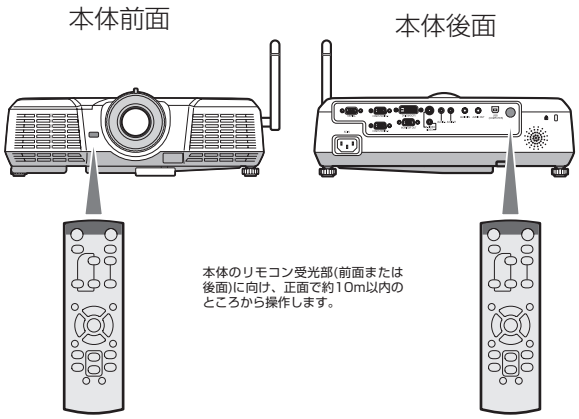
盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下の通りです。

日本ボラデジタル株式会社
104-0032　東京都中央区八丁堀1丁目5番2号　はごろもビル
TEL：03-3537-1070
FAX：03-3537-1071

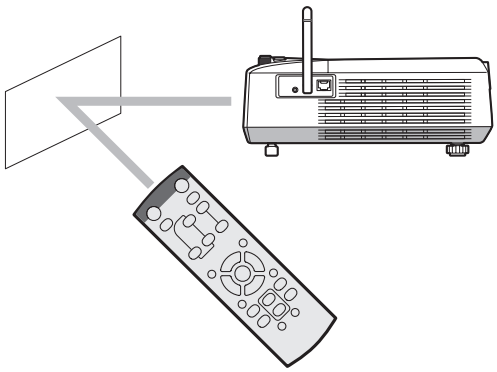


リモコンの使いかた

ワイヤレスリモコンとして使う



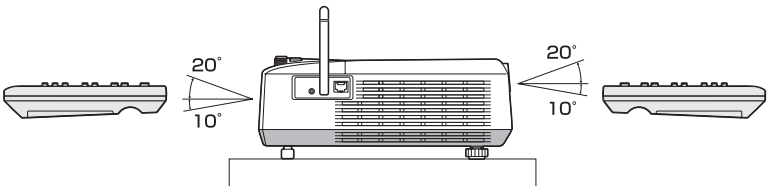
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。



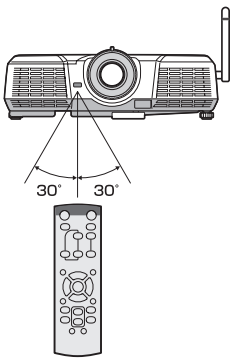
- スクリーンに向けて操作する場合は、リモコンからスクリーンを通して本機までの合わせた距離が約5m以内にします。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

操作範囲

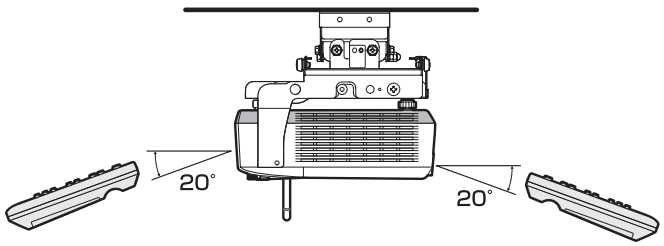
上下方向



左右方向



上下方向(天吊り時)



コンピュータの映像を見る

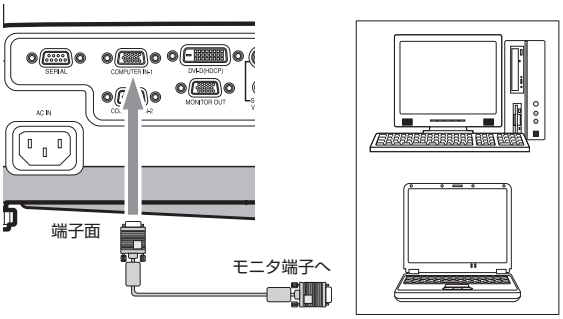
A.コンピュータと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプの場合、モニタに接続されているRGB信号ケーブルをはずす

アナログRGB(ミニD-Sub15ピン)端子付きコンピュータと接続する

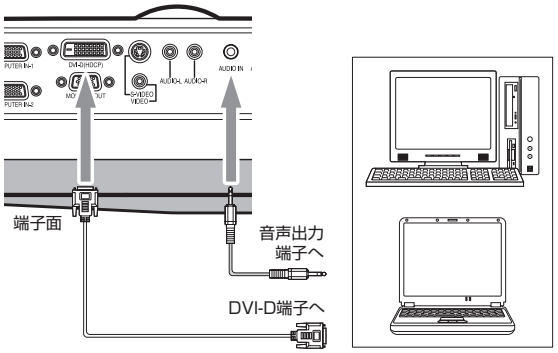


1 付属のRGB信号ケーブルを本機のCOMPUTER IN端子(1または2)に接続する

2 コンピュータのモニタ端子にRGB信号ケーブルのもう一方を接続する

- 接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。
- 付属のRGB信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると正常に映像が映らないことがあります。
- 本機のCOMPUTER IN端子はDDC1/2Bに対応しています。この規格に対応したコンピュータと接続した場合、コンピュータが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC対応のコンピュータと接続している場合、本機の電源コードを差し込んでからコンピュータを起動してください。

DVI-D(HDCP)出力端子付きコンピュータと接続する



1 DVI-Dケーブル(市販)を本機のDVI-D(HDCP)端子に接続する

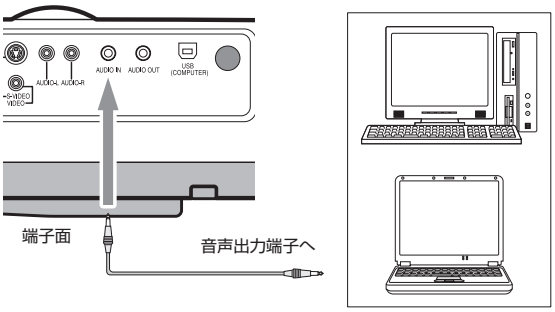
2 コンピュータのモニタ端子(DVI-D出力)にDVI-Dケーブルのもう一方を接続する

3 音声出力は、音声ケーブル(市販)を用意して、AUDIO IN端子に接続する

- 先にコンピュータを起動した場合、映像が表示されない場合があります。
- 本機のDVI-D(HDCP)端子は、DDC2Bに対応しています。この規格に対応したコンピュータと接続した場合、コンピュータが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC対応のコンピュータと接続している場合、本機コンピュータ電源コンセントに差し込んでから、コンピュータを起動してください。
- 本機が対応しているDVIは、DVI-D(デジタル)です。DVI-A(アナログ)は使用できません。
- コンピュータの出力がDVI-I(デジタルとアナログ)の場合、DVI-Dケーブルを使って接続すると使用できます。
- DVI端子およびワイヤレス映像を投影時は、モニタアウトはご使用になれません。

コンピュータの映像を見る(つづき)

コンピュータの音声をプロジェクターから出力する

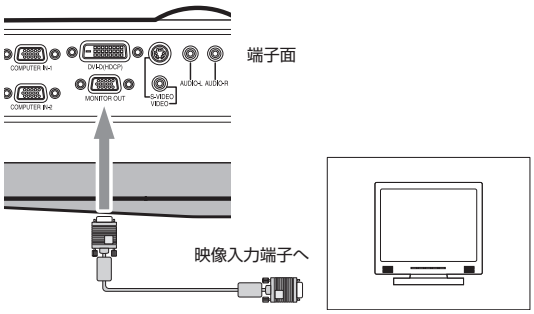


1 PC音声ケーブル(市販)を本機のAUDIO IN端子に接続する

2 PC音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続する

- 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです(ただし、スピーカ出力はモノラルになります)。接続するコンピュータの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。
- ワイヤレス映像を投影時は、オーディオアウトはご使用になれません。

プロジェクターの投写映像をモニタで見る(デスクトップのみ)



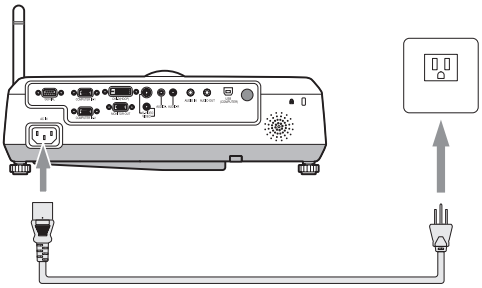
1 モニタに接続されているRGB信号ケーブルを本機のMONITOR OUT端子に接続する

- 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。
- 入力信号によっては、接続されているモニタに正常に映像が映らないことがあります。
  接続されているモニタの取扱説明書をご確認ください。
- COMPUTER 1またはCOMPUTER 2に入力している信号が出力されます。
- COMPUTER 1とCOMPUTER 2の両方に信号が入力されている場合は、プロジェクター本体で現在または最後に選択した方が出力されます。
- DVI端子およびワイヤレス映像を投影時は、モニタアウトはご使用になれません。

B.電源コードを差し込む

- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約10分後に電源を入れなおしてください。
- 万一、本機が故障した場合においても安全性が確保できるように、漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。漏電ブレーカーを備えたコンセントがない場合は、工事を販売店にご依頼ください。

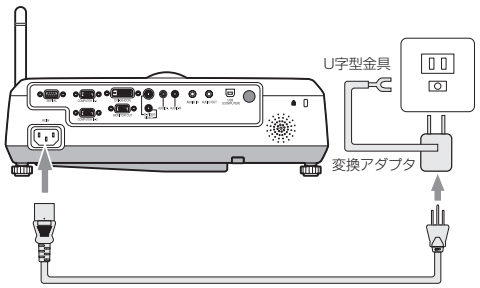
電源コンセントにアース端子の差し込み口が付いている場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いていない場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプタを取り付ける

3 変換アダプタのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。

4 変換アダプタを電源コンセントに差し込む

- 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
- 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。

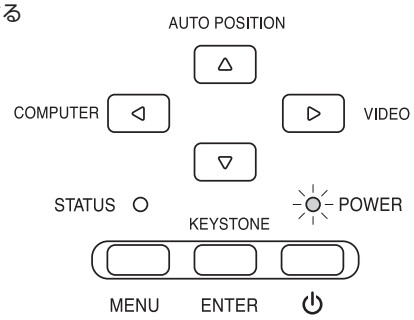
C.投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピュータの電源を入れる

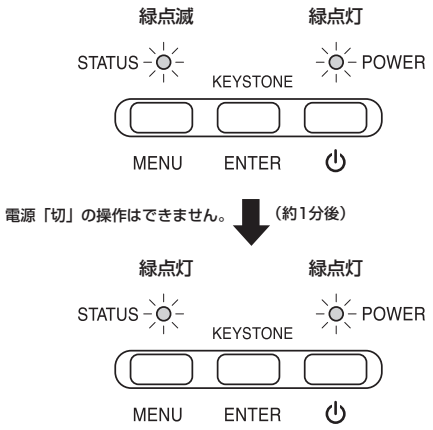
電源を入れる

1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

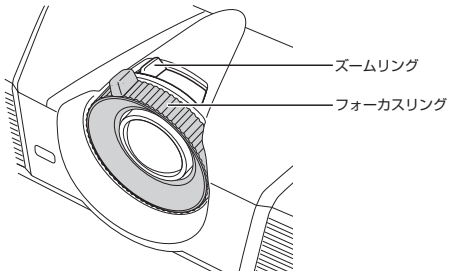
2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約10分後に電源を入れなおしてください。

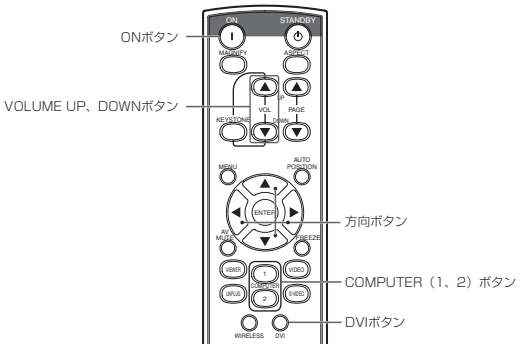
ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切り換える

4 リモコンのCOMPUTER(1または2)ボタン、DVIボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押す



- 本体のCOMPUTERボタンを押すごとに「COMPUTER 1」→「COMPUTER 2」→「DVI」→「WIRELESS」と切り換わります。
- ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは17ページをご覧ください。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。
- ワイヤレス接続(WIRELESS)で映像を見る場合は、25ページをご覧ください。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、右の表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(17ページ参照)。

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

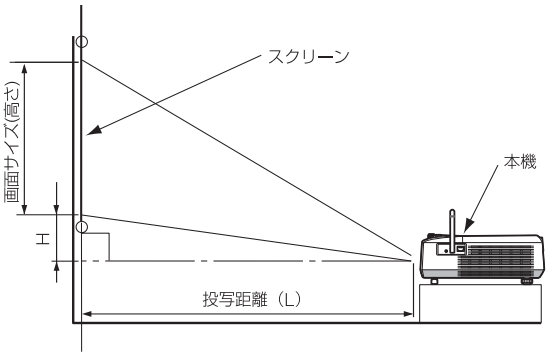
必要に応じて、操作3～7の設定は微調整してください。

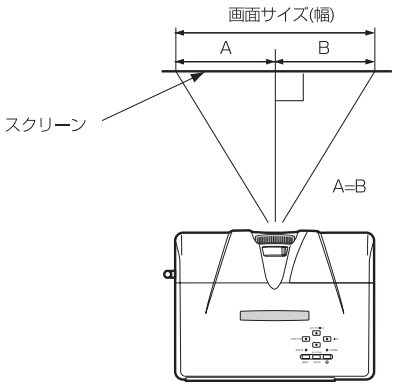
- 設置する場所については、あらかじめ5～9ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。
- スクリーンに直接照明などがあたらないようにしてください。映像がぼやけて見えることがあります。
- 天吊りにするなどの設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは50ページをご覧ください。

コンピュータの映像を見る(つづき)

画面サイズ			投写距離:L		高さ:H
(形)	幅(cm)	高さ(cm)	最短(m)	最長(m)	(cm)
40	81	61	1.3	1.6	5
60	122	91	2.0	2.4	7
80	163	122	2.6	3.2	9
100	203	152	3.3	4.0	11
150	305	229	4.9	6.0	17
200	406	305	6.6	8.0	23
250	508	381	8.3	10.0	29
300	610	457	9.9	−	34

● 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。





スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。

スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。(15、23、26ページ参照)

音量を調整する

8 VOLUME(▲ UPまたは▼ DOWN)ボタンを押して音量を調整する

● メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後30分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

9 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンを押す

「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。

● この状態を解除するには、電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタン以外のボタンを押してください。ボタンを押さなくても、10秒後にメッセージは消えます。

10 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

● 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸／排気ファンによる冷却が必要です。
● STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

12 電源プラグをコンセントから抜く

● POWERインジケーターが消灯します。
● 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、コンピュータと接続しているケーブルをはずします。

ダイレクトパワーオフ

本機の電源を切ったあと、すぐに電源コードを抜くことができます。吸／排ファンが完全に動かなくなるまで待つ必要はありません。

ダイレクトパワーオフを行う場合は、次の3つの事がらに注意して行ってください。

● ランプ点灯後、STATUSインジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
● ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
● ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例
  「Fn」キー+「 F1」～「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す。

AUTO POSITIONボタンについて

コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1. できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。
2. スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
3. AUTO POSITIONボタンを押す。
   入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

- 数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、信号設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください(48ページ参照)。

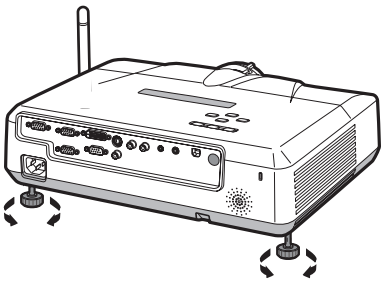
後部角度調整脚で投写角度を調整する

投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するか、または投写角度を以下のようにして調整してください。

1 本体の後部を投写させたい角度まで持ち上げる

- 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(後部角度調整脚のみによる角度調整角は、最大6°になります)。

2 後部角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように調整する



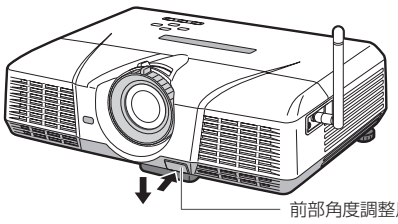
前部角度調整脚で投射角度を調整する

1 本体の前部を投射させたい角度まで持ち上げる

- 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(前部角度調整脚のみによる角度調整角は、最大8°になります)。

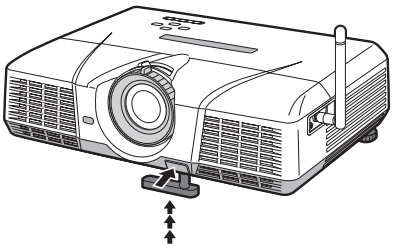
2 前部角度調整用ボタンを押し、画面の縦方向位置を微調整したあと、前部角度調整用ボタンから手を離す

- 前部角度調整用ボタンが飛び出ます。



前部角度調整脚を収納するときは

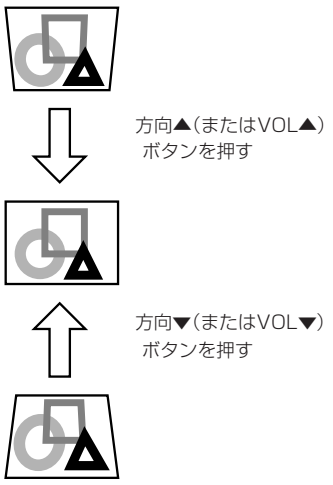
3 本体を手で支えながら前部角度調整用ボタンを押してゆっくり本体を降ろす



コンピュータの映像を見る(つづき)

画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が直角になっていないと画面が台形になります。本機、およびスクリーンを調整しても直角にならないときは本体、またはリモコンのKEYSTONEボタンを押して「台形補正」を表示させてから、本体の▲、▼ボタンまたはリモコンの VOL▲または方向▲、VOL▼または方向▼ボタンを押して調整します。



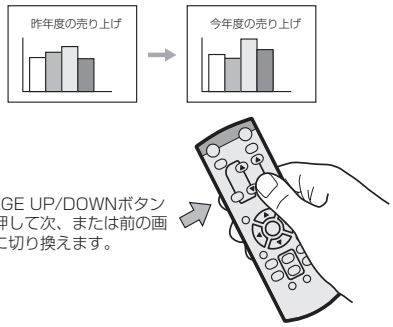
- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 調整時に表示される調整値は、設置状態により調整範囲が異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、アスペクト比が4:3にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がり等の現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。

プレゼンテーションを演出する

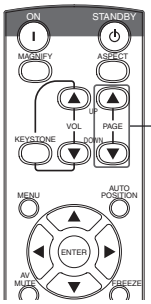
プレゼンテーションを行う上で、便利な使い方を紹介します。

リモコンをコンピュータのページアップ・ダウンキーとして使う(ページアップ・ダウン)

本機のリモコンでコンピュータの操作が行えるので、プレゼンテーションの画面を進めたり、もどしたりすることができます。

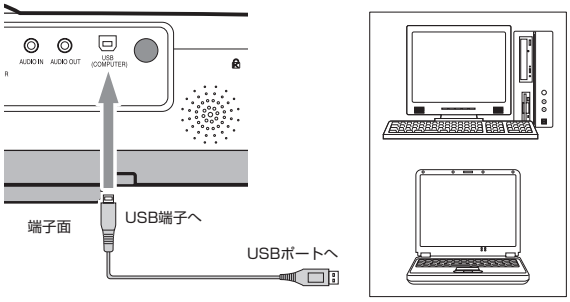


ページアップ・ダウンとして使用するボタン



USBポート付き機種との接続

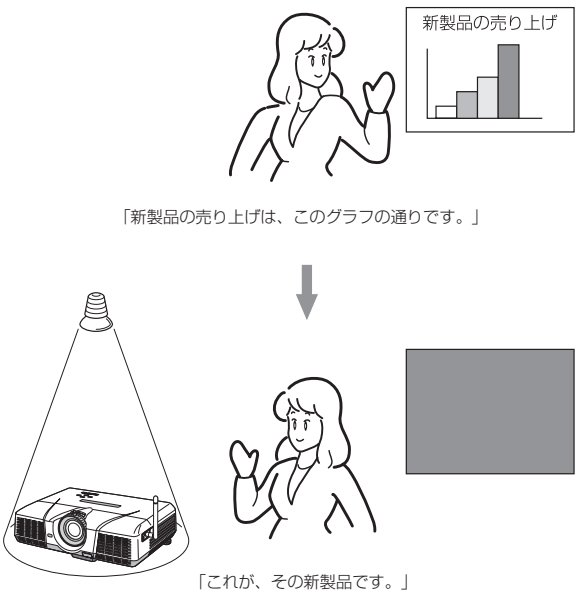
USBケーブルは、別途お買い求めください。



- USB接続して「Page up/down」できるのはUSBを標準でサポートしているパソコンのみです。
- USB接続の「Page up/down」機能は、Macintoshのパソコンではご使用になれません。
- USBケーブルは本機の光源ランプが点灯してから接続してください。
- 長いケーブルを使用すると、正常に動作しない場合があります。長いケーブルを使用される際には、リピーターのご使用をお勧めします。

映像と音声を一時的に消す(AVミュート)

スピーチやプレゼン映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



操作のしかた

1 リモコンのAV MUTEボタンを押す

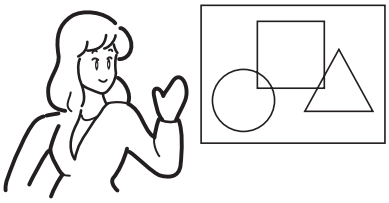
映像が真っ暗になり、音声が消えます。

- もう一度AV MUTEボタンを押すと、通常画面にもどります。

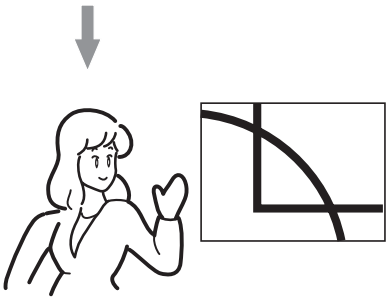
プレゼンテーションを演出する(つづき)

画面を拡大して見る(MAGNIFY)

本機は画面拡大機能により、画面の一部を拡大して見ることができます。



「少しわかりにくいので拡大してみます。」



「この丸と四角の交点にご注目ください。」

表示のしかた

1 リモコンのMAGNIFYボタンを押す

- 画面拡大表示になります。
- もう一度MAGNIFYボタンを押すと、通常画面に戻ります。

拡大率を変更するときは

1 リモコンのVOLUME UP(▲)またはDOWN(▼)ボタンを押す

- ▲ボタンを押すと拡大率が大きく、▼ボタンを押すと小さくなります。

拡大させる範囲を変更するときは

1 方向キー(▲、▼、◀、▶)ボタンを押す

- 画面拡大表示中は、音量調整はできません。
- 画面拡大表示中は、信号設定メニューは表示できません。
- 画面拡大表示は、COMPUTER IN端子(1と2)からの映像を表示しているときのみはたらきます。VIDEO端子またはS-VIDEO端子からの映像を表示しているときははたらきません。
- 入力信号によっては、MAGNIFYがはたらかない場合があります。
- 対応信号については60ページをご覧ください。

起動時およびミュート時などの画面を変更する

本機は起動画面(スプラッシュスクリーン)の画面を任意の映像に変更することができます。また、変更した画面は、メニュー設定により、ミュート時や無信号時のバックカラーの代わりに表示させることもできます。

設定のしかた

メニュー設定のしかたについては、42ページをご覧ください。

1 コンピュータの映像を表示させる

(コンピュータの映像の表示のしかたについては、13～18ページをご覧ください。)

2 登録する映像を表示させる

3 設置メニューを表示させる

4 ▲、▼ボタンを押して、「イメージキャプチャー」を選ぶ

5 ENTERボタンを押す

- 取り込みが開始されると、取り込んだ画像が表示されます。
- 一度ENTERを押すと、取り込みが完了するまで他の操作ができなくなります。
- 取り込む画面がXGAより低い解像度の場合、XGAに拡大処理してから表示します。
- 取り込む画面がXGAより高い解像度の場合、XGAの領域が切り出されます。

- 起動画面は元に戻せません。(オプションメニューのRESET ALLの操作をしても工場出荷時の画面には戻りません。)起動画面を変更したいときは、別の画像を取り込んでください。
- ENTERを押した時点で、それまでに取り込んだ画像を消去いたします。誤ってENTERキーを押してしまった場合、再度同じ画像を取り込んでください。
- 次の起動時より、取り込んだ画像が表示されます。表示されないときは、設置メニューのスプラッシュスクリーンの設定が「OFF」になっていないか、確認してください。(44ページ参照)
- 取り込んだ画像をミュート時に表示させたいときは、設置メニューのAV ミュートモードの設定を「IMAGE」にしてください。(44ページ参照)
- 設定メニューのバックカラーの設定を「IMAGE」にしておくと無信号時の画面が取り込んだ画像になります。
- 入力信号によっては画像を取り込めない場合があります。

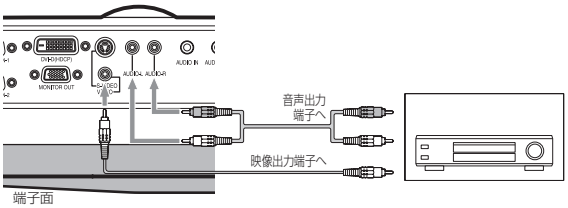
ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

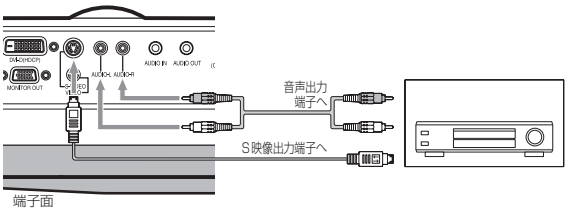
準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



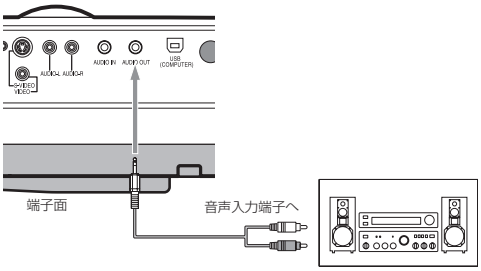
1. 本機のVIDEO端子に付属のビデオケーブルの黄色のプラグを接続する
2. ビデオ機器の映像出力端子にビデオケーブルのもう一方の黄色のプラグを接続する
3. 本機のAUDIO-L、R 端子に市販のオーディオケーブルの白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する
4. ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

S映像出力端子付きビデオ機器と接続する



1. 本機のS-VIDEO端子に市販のSビデオケーブルを接続する
2. ビデオ機器のS映像出力端子にSビデオケーブルのもう一方を接続する
3. 本機のAUDIO-L、R 端子に市販のオーディオケーブルの白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する
4. ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する

外部スピーカーからプロジェクターに接続している機器の音声を出すときは



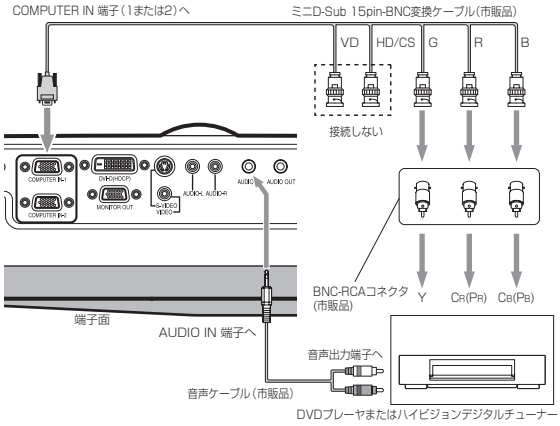
1. 市販の音声ケーブルを本機のAUDIO OUT端子に接続する
   - このとき、内部スピーカーからの音声は出力されなくなります。
2. 外部スピーカーと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

AUDIO OUT端子からの音声について

- AV MUTEボタンを押すと音声が消えます。
- VOLUME(＋または－)ボタンを押すと音量が変わります。

DVDプレーヤまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVDプレーヤ、またはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER IN端子(1または2)に接続します。

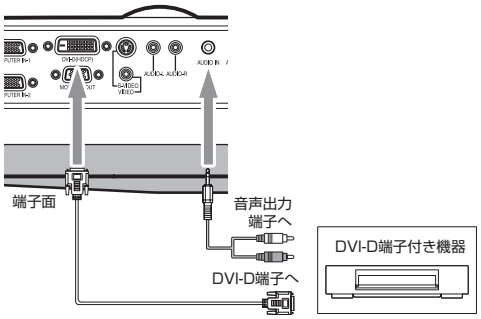


- 接続はミニD-Sub 15pin-BNC変換ケーブルを使用ください。DVDプレーヤとの接続にはBNC-RCAコネクタが必要となります。
- オーディオ(音声)ケーブルは、ミニプラグのケーブルを使います。
- DVDプレーヤ、およびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R, G, B出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。

ビデオ機器の映像を見る(つづき)

DVI-D(HDCP)出力端子付き映像機器と接続する

本機のDVI端子は、DVI-D出力端子付きの映像機器と接続することにより、高画質な映像が投写できます。また、HDCPに対応していますので、DVDプレイヤーなどでの出力で暗号化されたデジタル画像を受信することができます。



1 DVI-Dケーブル(市販)を本機のDVI-D(HDCP)端子に接続する

2 映像機器のDVI-D出力端子にDVI-Dケーブルのもう一方を接続する

3 音声出力は、音声ケーブル(市販)を用意して、AUDIO IN端子に接続する

- 入力切換は、DVI(DVI-D入力)を選択します。
- RGB信号のみに対応しています。色差信号には対応していません。
- HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)とは、Intel社によってコンテンツ保護を目的に開発された、デジタル画像信号の暗号化形式の1つです。
- DVI入力時は、色の濃さ、色合い、分周比、ファイン、上部曲がり補正などの調整はできません。

デジタル機器との接続について

本機とデジタル機器(DVDプレーヤーなど)をDVI-D(HDCP)端子で接続した場合、機器によっては映像の黒レベルが沈み、黒つぶれすることがあります。これはデジタル映像伝送の規格が2種類あり、黒レベルの設定がそれぞれ異なるためです。デジタル機器によっては、異なる規格の信号を出力するものがあります。

- デジタル機器には、デジタル出力信号を切り換える機能が搭載されているものがあります。その場合は、下記のように切り換えてください。
  エクスパンドまたはエンハンスド → ノーマル
  詳細は、デジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
- デジタル機器にデジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されていない場合は、画質メニューのアドバンスドメニューにある入力レベルの設定を、映像に合わせて調整してご覧ください。

B. 電源コードを差し込む

「コンピュータの映像を見る」と同じです。14ページをご覧ください。

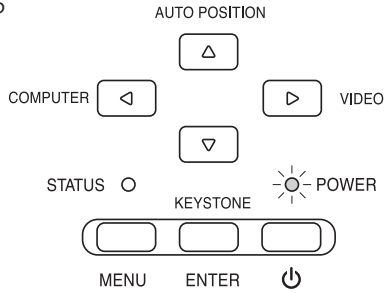
C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- ビデオ機器の電源を入れる

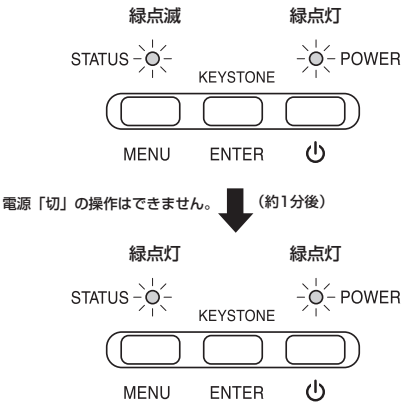
電源を入れる

1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

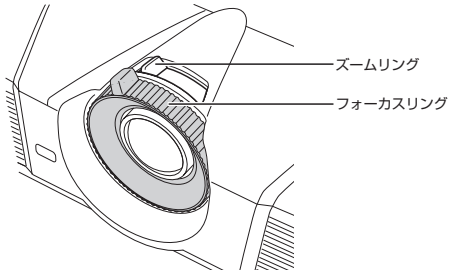
2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押したあと、または、ランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約10分後に電源を入れなおしてください。

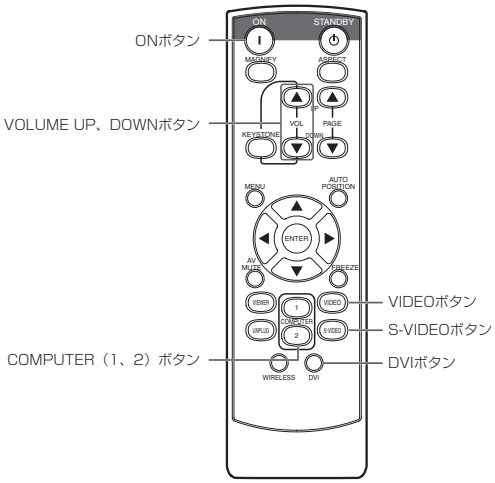
ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する



入力を切り換える

4 リモコンのVIDEOまたはS-VIDEOボタン、または本体のVIDEOボタンを押す



- 本体のVIDEOボタンを押すごとに「VIDEO」→「S-VIDEO」→「VIDEO」と切り換わります。
- COMPUTER IN 端子で接続しているDVDプレーヤやハイビジョンデジタルチューナーの映像を見るときは、COMPUTER（1または2）ボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。
- DVI-D（HDCP）端子に接続している機器の映像を見るときは、DVIボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押します。

設置する

5 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する

- スクリーンから本機までの距離は、16ページの表を目安にして設置してください。

6 本機とスクリーンが垂直になるように設置する

- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください（17ページ参照）。

7 ズームリングを回して投写画面サイズを調整する

必要に応じて、操作3～7の設定は微調してください。

音量を調整する

8 VOLUME(▲ UP または ▼ DOWN)ボタンを押して音量を調整する

- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。ランプ点灯後30分以内に電源を切ることを繰り返すと、ランプにダメージを与える場合があります。

9 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンを押す

「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。

- この状態を解除するには、本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタン以外のボタンを押してください。ボタンを押さなくても、10秒後にメッセージは消えます。

10 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのSTANDBYボタンをもう一度押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケーターが点滅します。

11 STATUSインジケーターの緑点滅が消えるまで、約90秒間そのまま待つ

- 光源ランプを冷やすため、一定時間、吸／排気ファンによる冷却が必要です。
- STATUSインジケーターが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

12 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケーターが消灯します。
- 必要なときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、コンピュータと接続しているケーブルをはずします。

ダイレクトパワーオフ

本機の電源を切ったあと、すぐに電源コードを抜くことができます。吸／排ファンが完全に動かなくなるまで待つ必要はありません。

- ランプ点灯後、STATUSインジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。(約10分間お待ちください)すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニュー画面を閉じてください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。

ビデオ機器の映像を見る(つづき)

静止画について

リモコンのFREEZEボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もう一度押すと通常画面にもどります。

- 音声は通常どおり聞こえます。
- 静止画中にFREEZEボタン以外のボタンを押しても通常画面にもどります(一部、もどらないボタンもあります)。
- 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。

ASPECTボタンについて

スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときにASPECTボタンを押すとアスペクト比が切り換わります。

- ASPECTボタンを押すごとに、「AUTO」→「16:9」→「FULL」→「AUTO」と切り換わります。
- オプションメニューの画角で16:9 を選択すると、表示位置の選択ができます。
- 長時間16:9画面で使用されたあと、4:3表示で使用されると、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る場合があります。(45ページ参照)。

ワイヤレスで映像を見る

ワイヤレス(無線LAN)接続でコンピュータの映像を見る方法について説明します。

- コンピュータの映像を、RGBケーブル無しでも、ワイヤレスでプロジェクターに投射することができます。ただし、コンピュータをインターネットに接続している間は、プロジェクタには接続できません。
- ワイヤレス映像を投影時は、モニタアウトおよびAUDIO OUT端子はご使用になれません。
- このデータプロジェクターは、IEEE802.11b/gに対応しています。
- ワイヤレス映像あるいは有線LANの映像を表示している間は、AUDIOはご使用になれません。

ワイヤレス機能使用上のお願い

プロジェクターの無線LAN接続機能使用時は、2.4 GHz帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

- 他の無線機器の近くで使用しないでください。下記の機器は、プロジェクターと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでプロジェクターを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。
  - 電子レンジなど
  - 産業・科学・医療用機器など
  - 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
  - 特定小電力無線局
- 鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線LAN通信の電波を通しません。木材やガラス(金属メッシュ入りガラスを除く)などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。
- 静電気が多く発生するような場所でのプロジェクターの使用は、できるだけしないでください。じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でプロジェクターを使用する場合、無線LAN、または有線LANが切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、無線LAN、または有線LANを接続してください。
- まれに静電気やノイズによりLAN接続ができなくなる場合があります。このような場合は、リモコンまたは本体操作部の電源ボタンで、プロジェクターの電源をいったん切ってください。
- ワイヤレス機器が多数ある環境では、接続できない場合があります。

セキュリティに関するお願い

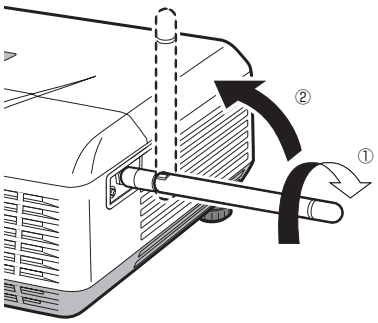
本製品をご使用になる場合、本製品を介したお客様のプライバシー情報の漏洩、悪意のある第3者による本製品の不正操作・妨害・停止等が想定されますので、セキュリティ対策を十分に行ってください。

- セキュリティ対策
  - 本製品に搭載しているWEPによる暗号化をご利用ください。
  - ユーザー管理モードをご利用ください。
  - ユーザー管理モードやネットワーク設定のパスワードは推測されにくいものに設定変更ください。
- 無線LANについて
  本来、無線LAN機器(無線LANカードやアクセスポイント)は、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN機器のセキュリティに関する設定を行った上、本製品を使用することで、そのセキュリティ上の問題が発生する可能性は少なくなります。

A. アンテナを接続する

準備

- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する



1 付属のアンテナをアンテナ端子に接続する

2 アンテナを立てる

- アンテナは、はずれないように確実にねじ込んでください。

B. 電源コードを差し込む

「コンピュータの映像を見る」と同じです。14ページをご覧ください。

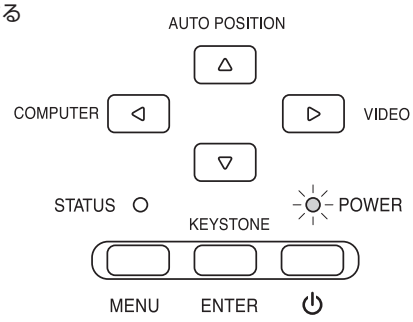
C. 電源を入れる・ピントを調整する

準備

- レンズキャップをはずす

電源を入れる

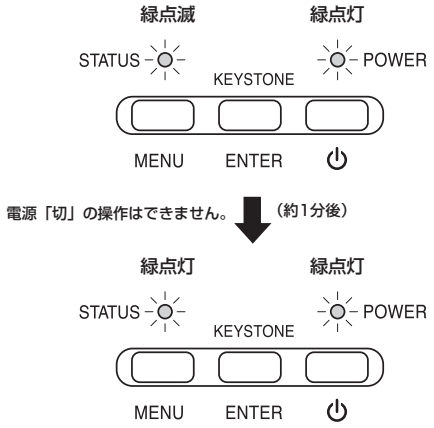
1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

ワイヤレスで映像を見る(つづき)

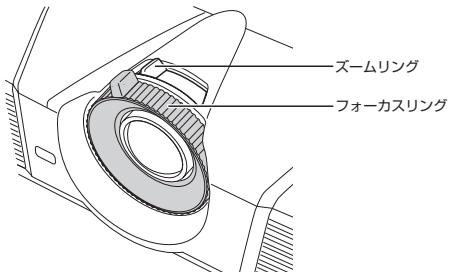
2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタンを押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは電源を入れた時、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。
- まれに、停電または電源の電圧低下によってランプが消えた場合、再度電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。その場合は、電源コードを一旦コンセントから抜き、約10分後に電源を入れなおしてください。

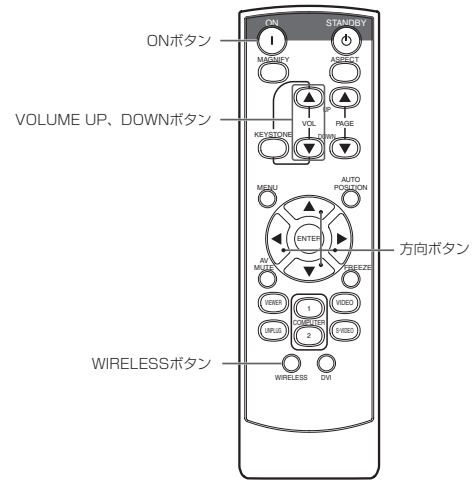
ピントを調整する

3 フォーカスリングを回してピントを調整する

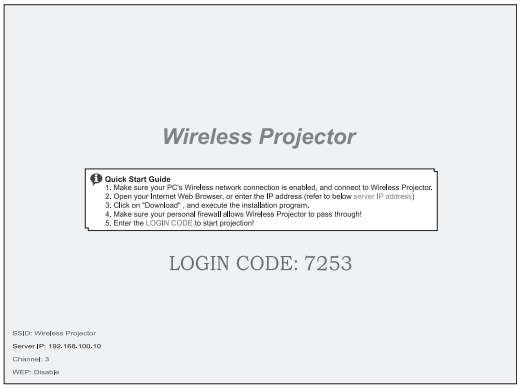


D. 入力を切り換える

1 リモコンのWIRELESSボタンまたは本体のCOMPUTERボタンを押す



- 本体のCOMPUTERボタンを押すごとに「COMPUTER 1」→「COMPUTER 2」→「DVI」→「WIRELESS」と切り換わります。
- 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。
- WIRELESSに切り換えると、起動画面が表示されたあと、次のような画面が表示されます。



E. ワイヤレス接続する

コンピュータとプロジェクターをワイヤレス(無線LAN)接続します。

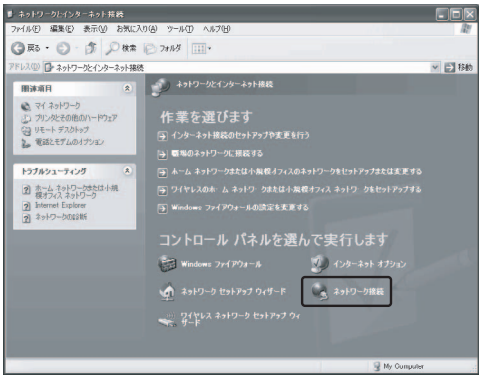
- Administrator権限を持つユーザーで設定してください。
- あらかじめAdministrator権限でログインし、ワイヤレス接続が使える状態になっていることを確認してください。(くわしくは、お手持ちのコンピュータのマニュアルをご覧ください。)

1 コンピュータの電源を入れる

2 スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選択する

3 「ネットワークとインターネット」をクリックする

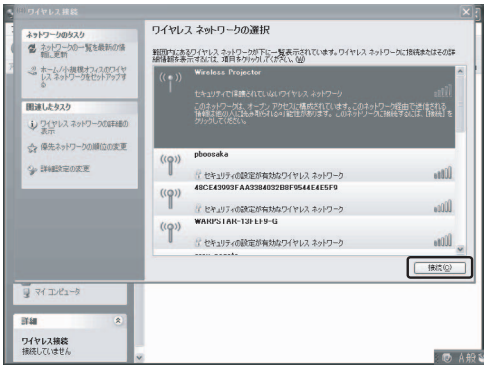
4 「ネットワーク接続」をクリックする



5 「ワイヤレス接続」を右クリックし、「利用できるワイヤレス ネットワークの表示」を選択する

- ワイヤレス接続が「無効」になっているときは、「ワイヤレス接続」を右クリックし、「有効にする」を選択してください。

6 「Wireless Projector ***」を選択し、[接続]ボタンをクリックする



- プロジェクターと正しくワイヤレス接続されると、接続状態が「接続」になります。
- 接続には約1分かかります。
- コンピュータとプロジェクターが既にワイヤレス接続されているときは、ウィンドウを閉じてください。
- ワイヤレス接続ができないときは、55ページをご覧ください。
- 「Wireless Projector」のあとに続く文字列は、管理画面で変更できます。
- 動画を伝送する場合、変化領域によってはコマ落ちします。
- ドラッグ中のアイコンなど、一部領域はワイヤレス伝送されない場合があります。
- プロジェクターが複数台ある場合、無線接続しているプロジェクターと、接続表示しようとしているプロジェクターが、一致していることを確認してください。(異なるプロジェクターに接続しようとすると、ログインコードが異なるため接続できません。)
- IEEE802.11bのみサポートしているパソコンや、古い型のパソコンでは、応答時間が低下します。

ワイヤレスで映像を見る

ワイヤレスで映像を見る(つづき)

F. 接続ソフトウェアをインストールする

このプロジェクターでコンピュータの画面を投影するために必要な接続ソフトウェア「Wireless Projector」をインストールします。

- Administrator権限を持つユーザーで設定してください。
- 既にインストールしている場合、再度インストールする必要はありません。

ソフトウエア使用許諾書

下記手順により、ワイヤレス伝送するためのソフトウェアをプロジェクターからダウンロードし、インストールすることができますが、本ソフトウェアのご使用にあたっては、この「ソフトウェア使用許諾書」の内容を事前にご承諾していただくことが、ご使用の条件になっております。

- 権利
  お客様は、本ソフトウエア(ワイヤレスプロジェクターからダウンロードされた情報のことをいいます)の使用権を得ることはできますが、著作権もしくは知的財産権がお客様に移転するものではありません。
- 使用コンピュータ
  本ソフトウェアは、お客様が所有または管理する複数台のコンピュータにおいて使用することができます。ただし、本機の使用を伴う場合に限定されます。
- 解析、変更または改造
  本ソフトウェアの解析、変更または改造は行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。
  また、解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店、販売代理店等は責任を負いません。
- アフターサービス
  お客様でのご使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。
  お問い合わせの中で、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。
- 免責
  本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記アフターサービスの対応のみとさせていただきます。
  本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店、販売代理店等はその責任を負いません。
  なお、本機の使用を伴わない本ソフトウェアの動作保証は一切行いません。
  プロジェクターのご使用にあたって、お客様のデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 輸出管理
  お客様は、本ソフトウェアを購入した国以外の国に持ち出される場合、その国および関係する各国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

ソフトウエアのインストール

必要なシステム構成

付属のソフトウェアのご使用に際しては、下記の条件を満たすコンピュータをお勧めします。

OS:	Microsoft Windows 2000 Professional/ XP Professional SP2
CPU:	Intel® Pentium® ɜ 600 MHz以上もしくは互換のプロセッサ搭載 (ライブモードご使用時は800MHz以上を推奨)
メモリー:	256 MB 以上
ハードディスクの空き容量:	60 MB 以上
ハードウェア条件:	CDまたはDVDドライブ(取扱説明書を閲覧する際に必要) LAN端子(10BASE-T / 100BASE-TX準拠) 802.11b/g対応の無線LAN内蔵か、外付けの802.11b/g対応無線LANアダプターが正常に動作すること。
WEBブラウザ:	Internet Explorer 6.0以上

重要

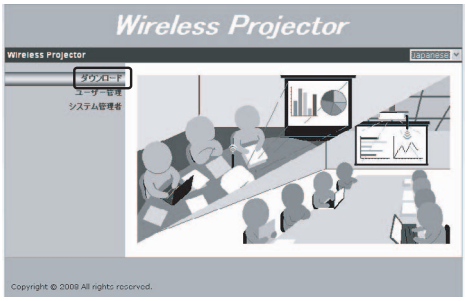
上記のシステム環境以外で使用された場合の動作保証は一切いたしません。また、上記のシステム環境であっても、全ての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

- Windows Vistaについてのご注意
  Windows Vista搭載のコンピュータへWireless Projectorのソフトウェアをダウンロード、インストールすることは可能ですが、各種セキュリティプログラム等の影響で使用できない場合がありますので、ご了承ください。
- Macintoshについてのご注意
  本機のワイヤレス機能は、Macintoshのパソコンではご使用になれません。

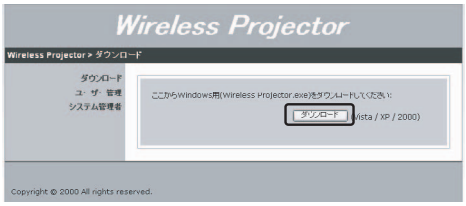
1 Webブラウザを起動する
(例:インターネットエクスプローラ)

- ブラウザを起動するとプロジェクターの管理画面が表示されます。
- 画面が表示されない場合は、コンピュータの「ワイヤレス接続」のプロパティを表示し、「インターネット プロトコル(TCP/IP)」のプロパティで、「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されているかを確認します。
- それでも画面が表示されない場合は、「http://(プロジェクターのIPアドレス)」にアクセスしてください。IPアドレスは、プロジェクターが投写した画面の「Server IP:」に表示されている数値です。
- くわしくは、「うまく接続できないときは」(31ページ)を参照してください。

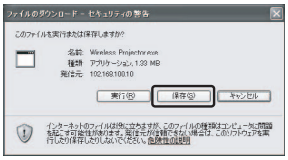
2 「ダウンロード」をクリックする



3 [ダウンロード]ボタンをクリックする

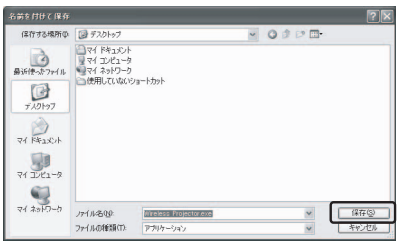


4 [保存]ボタンをクリックする



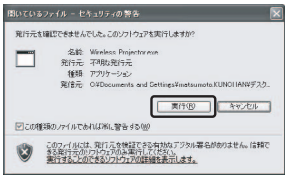
- ダウンロードに時間がかかる場合は、[キャンセル]ボタンをクリックし、操作3からやりなおしてください。
- 保存せずに直接インストールすることも可能です。

5 保存場所を指定し、[保存]ボタンをクリックする

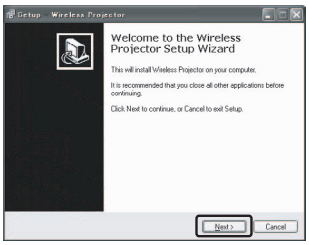


6 操作5で保存したファイル「Wireless Projector.exe」をダブルクリックする

7 [実行]ボタンをクリックする



8 [Next >]ボタンをクリックする



- 接続ソフトウェア「Wireless Projector」のインストールが始まります。
- インストールが終了すると、接続ソフトウェアが起動します。
- 接続中に再度インストールをしようとすると、途中でインストール作業が止まります。この場合「Wireless Projector」を一度終了してください。

G. 投写する

接続ソフトウェアを起動する

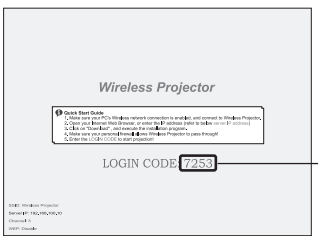
- インストール直後は、自動的に起動します。

1 デスクトップの「Wireless Projector」アイコンをダブルクリックする

- スタートボタンをクリックし、「すべてのプログラム」→「Wireless Projector」→「WPS-Video」を順に選択しても、接続ソフトウェアを起動できます。

2 プロジェクターの画面中央に赤字で表示されているログインコードを入力し、[OK]ボタンをクリックする

同じLOGIN CODEを入力する。



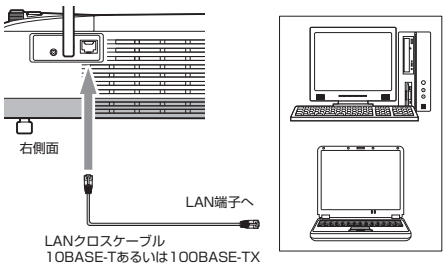
- コンピュータの画面が投写されます。
- 認証コードは、プロジェクターが投写した画面の「LOGIN CODE:」に表示されている4桁の数字です。
- コンピュータの解像度がXGAでない場合、プロジェクターとの接続中は、自動的に解像度が切り替わりますので、接続時の画面表示にしたがってください。
- WIRELESS選択時は、オートパワーオフは動作しません。
- 接続ソフトウェアの使いかたについては、32ページをご覧ください。

ワイヤレスで映像を見る

ワイヤレスで映像を見る(つづき)

有線LAN接続するには

本機はLANケーブルを使って有線LAN接続することもできます。



1 LANケーブル(市販)を本機のLAN端子に接続する

- クロスケーブルをご使用ください。
- カテゴリー5のケーブルをご使用ください。

2 コンピュータのLAN端子にLANケーブルのもう一方を接続する

- 「A. アンテナを接続する」(25ページ)の手順のかわりに、LANケーブルを接続します。
- 「E. ワイヤレス接続する」(27ページ)の操作は必要ありません。
- ワイヤレス接続と同様の操作が行えます。
- LAN端子は、直接手で触れないでください。また、接続時には静電気にご注意ください。
- 無線接続がよくない場合や、ネットワーク設定を確実に行いたい場合などにご利用ください。

うまく接続できないときは

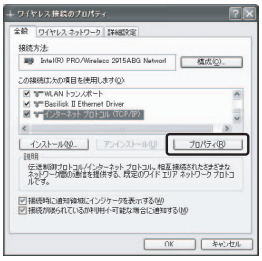
以下の点を確認してください。

インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティで、IPおよびDNSサーバーのアドレスが自動取得になっているかを確認します。

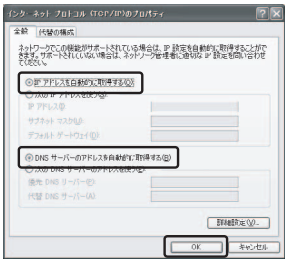
1 「E.ワイヤレス接続する」の操作2～5を行う

2 「ワイヤレス接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択する

3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して[プロパティ]ボタンをクリックする



4 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、[OK]ボタンをクリックする

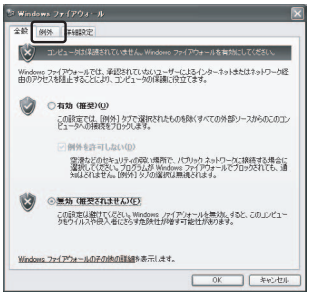


ファイアウォールの設定で[例外]タブの「Wireless Projector」にチェックが入っていることを確認します。

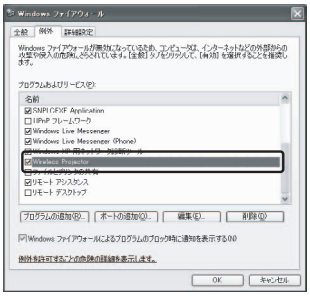
1 「E.ワイヤレス接続する」の操作2～3を行う

2 「Windowsファイアウォール」をクリックする

3 [例外]タブをクリックする

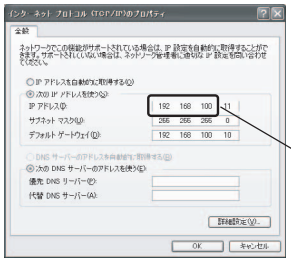


4 「Wireless Projector」にチェックを付け、[OK]ボタンをクリックする



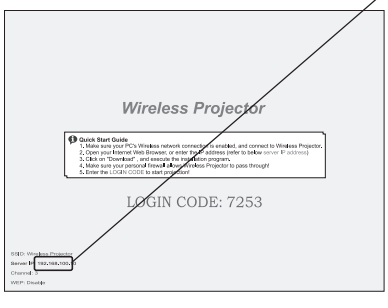
コンピュータを固定IPアドレスで使用している場合、インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティのIPアドレスとプロジェクターのIPアドレス(プロジェクターの初期画面左下の「Server IP:」)の上3桁が同じ数字であることを確認します。違う場合は、IPアドレスの上3桁の数字をそろえてください。

インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ



上3桁が同じ数字であることを確認

プロジェクターの初期画面



ワイヤレスで映像を見る

接続ソフトウェアの使いかた

接続ソフトウェアの起動方法については、29ページをご覧ください。

投写を一時停止する・再開する

投写中の画面を一時停止することができます。

投写を一時停止する

1 ⏸ ボタンをクリックする

- 投写された画面が一時停止します。

投写を再開する

1 ▶ ボタンをクリックする

- 画面の投写が再開されます。

一時停止中の投写を更新する

一時停止中の画面を現在コンピュータ画面に更新することができます。

1 一時停止中に 🔄 ボタンをクリックする

- ボタンをクリックするたびに、投写画面が更新されます。

投写を停止する・開始する

画面の投写を中止することができます。

投写を停止する

1 ■ ボタンをクリックする

- コンピュータ画面の投写が終了し、プロジェクターの初期画面が表示されます。

投写を開始する

1 ▶ ボタンをクリックする

- コンピュータの画面が投写されます。

接続ソフトウェアを終了する

接続ソフトウェアを終了します。

1 ☰ アイコンをクリックし、[終了]を選択する

- 接続ソフトウェアが終了します。
- 複数人がログインした場合、後からログインした方が優先となります。
- 同時にワイヤレス接続できるコンピュータは、約30台です。ただし、接続台数は電波状況に依存します。
- 他のプロジェクターに接続する場合は、「E.ワイヤレス接続する」の操作6で、接続したいプロジェクターを選択してください。

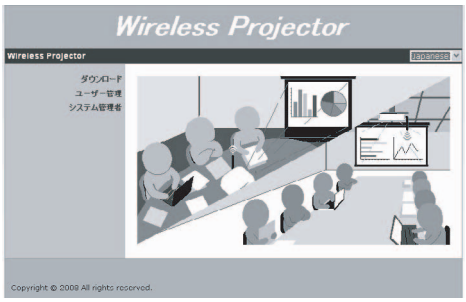
その他の操作

管理画面を表示する

プロジェクターの管理画面を表示することができます。

1 アイコンをクリックし、[管理画面]を選択する

↓



- プロジェクターの管理画面が表示されます。
- 管理画面については35ページをご覧ください。

プロジェクターと接続しなおす

電波状態が悪いなどの理由でプロジェクターとの接続が切れた場合、再接続することができます。

- あらかじめ、切り換えるプロジェクターの入力を「WIRELESS」にしておいてください(26ページ参照)。

1 アイコンをクリックし、[検索]を選択する

2 ログインコードを入力し、[OK]ボタンをクリックする

- プロジェクターにコンピュータの画面が投写されます。
- ログインコードは、プロジェクターが投写した画面中央下部の「LOGIN CODE:」に表示されている4桁の数字です。

USBメモリに接続ソフトウェアをインストールする

USBメモリに接続ソフトウェアをインストールしておくと、USB端子を搭載したコンピュータですぐに接続ソフトウェアを使用することができます。コンピュータに接続ソフトウェアをインストールする必要はありません。

- USBメモリに接続ソフトウェアをインストールすると、USBメモリのボリューム名が「PnS Token」に変わります。

1 接続ソフトウェアが起動しているコンピュータのUSB端子にUSBメモリを差し込む

2 アイコンをクリックし、[PnS Tokenウィザード]を選択する

3 [Next >]ボタンをクリックする

接続ソフトウェアの使いかた(つづき)

4 インストール先のUSBメモリを選択し、[Next >]ボタンをクリックする

- 接続ソフトウェアのインストールがはじまります。

5 [Finish]ボタンをクリックする

- 接続ソフトウェアをインストールしたUSBメモリをコンピュータに差し込むと、接続ソフトウェアが自動的に起動します。
- 自動的に起動しない場合は、USBメモリを開き「Wireless_Projector」のアイコンをダブルクリックします。
- USBにインストールした接続ソフトウェア起動中は、USBメモリを取りはずさないでください。

プロジェクターの情報を表示する

接続中のプロジェクターのIPアドレス、ログインコードを確認することができます。

1 アイコンをクリックし、[情報]を選択する

2 確認が終わったら、[OK]ボタンをクリックする

ソフトウェアのバージョン情報を表示する

使用中の接続ソフトウェアのバージョンを確認することができます。

1 アイコンをクリックし、[バージョン情報]を選択する

2 確認が終わったら、[OK]ボタンをクリックする

管理画面の使いかた

接続ソフトウェアをダウンロードする

接続ソフトウェアをダウンロードすることができます。

ソフトウェアのダウンロード方法は、「F. 接続ソフトウェアをインストールする」の操作 1 ～ 5 と同じです。28ページをご覧ください。

投写画面を選択する（カンファレンスモード）

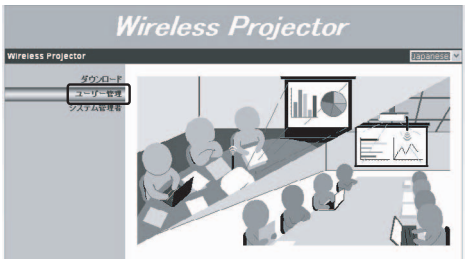
プロジェクターに複数のコンピュータをワイヤレス接続している場合、1人の管理者が投写するコンピュータの画面を選択することができます。

- 同時にワイヤレス接続できるコンピュータは、約30台です。ただし、接続台数は電波状況に依存します。

1 Webブラウザを起動する

- ブラウザを起動するとプロジェクターの管理画面が表示されます。
- 画面が表示されない場合は、「http://（プロジェクターのIPアドレス）」にアクセスしてください。プロジェクターのIPアドレスは、プロジェクターが投写した画面の「Server IP:」に表示されている数値です。
- 接続ソフトウェアのメニューで「管理画面」を選択しても管理画面を表示することができます。33ページをご覧ください。

2 「ユーザー管理」をクリックする

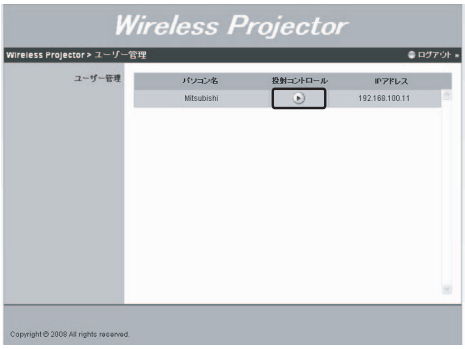


3 パスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックする

- このプロジェクターにワイヤレス接続しているコンピュータの一覧が表示されます。
- ユーザーID「chairman」の初期パスワードは「chairman」です。
- パスワードは変更することができます。38ページをご覧ください。

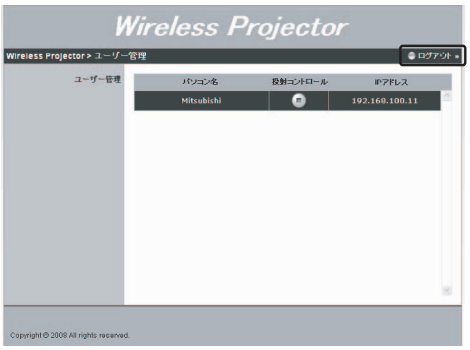
4 [OK]ボタンをクリックする

5 画面を表示するコンピュータの ▶ アイコンをクリックする



- 投影コントロールのアイコンが ■ になり、選択したコンピュータの画面に切り換わります。
- この画面で投写画面を選択しているときは、管理者以外のコンピュータから接続ソフトウェアで投写を停止したり開始することはできません。
- 複数のユーザーがこの画面にログインしているときは、最初にログインしたユーザーの操作のみが有効になります。あとでログインしたユーザーは、投写画面を切り換えることはできません。

6 操作が終わったら、[ログアウト]をクリックする



言語を切り換える

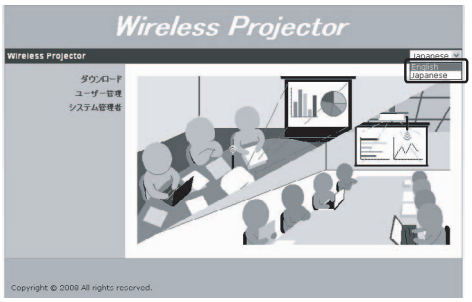
管理画面で表示する言語を「Japanese（日本語）」「English（英語）」の中から選択することができます。

1 Webブラウザを起動する

- ブラウザを起動するとワイヤレスプロジェクターの管理画面が表示されます。
- 画面が表示されない場合は、「http://（プロジェクターのIPアドレス）」にアクセスしてください。プロジェクターのIPアドレスは、プロジェクターが投写した画面の「Server IP:」に表示されている数値です。
- この設定は保存されません。一度ブラウザを終了すると、デフォルトの言語に戻ります。

管理画面の使いかた(つづき)

2 画面右上のプルダウンメニューをクリックし、表示言語を選択する



- 管理画面の表示が選択した言語になります。

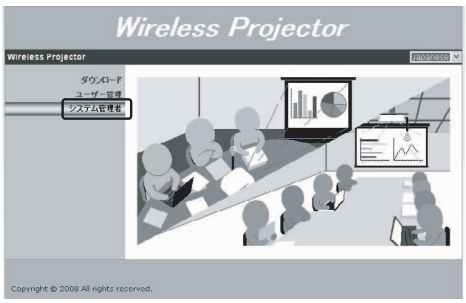
プロジェクターを設定する

システム管理者画面にログインすると、ネットワークや投影の設定、パスワードの変更などを行うことができます。

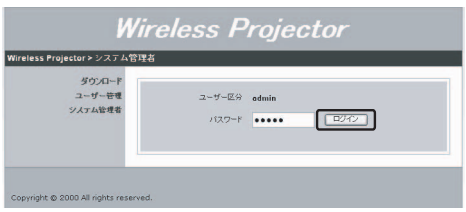
1 Webブラウザを起動する

- ブラウザを起動するとプロジェクターの管理画面が表示されます。
- 画面が表示されない場合は、「http://(プロジェクターのIPアドレス)」にアクセスしてください。プロジェクターのIPアドレスは、プロジェクターが投写した画面の「Server IP:」に表示されている数値です。
- 接続ソフトウェアのメニューで「管理画面」を選択しても管理画面を表示することができます。33ページをご覧ください。

2 「システム管理者」をクリックする



3 パスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックする

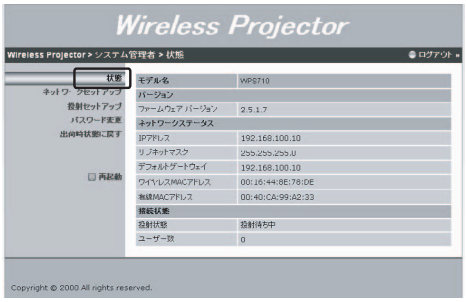


- システム管理者用の設定画面が表示されます。
- ユーザーID「admin」の初期パスワードは「admin」です。
- パスワードは変更することができます。38ページをご覧ください。

プロジェクターの状態を確認する

プロジェクターのモデル名、バージョン、ネットワークの状態、接続状態を確認することができます。

1 「状態」をクリックする



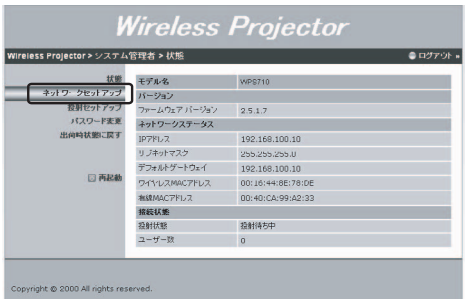
- プロジェクターの状態が表示されます。

ネットワークの設定を変更する

プロジェクターのネットワーク設定を変更することができます。

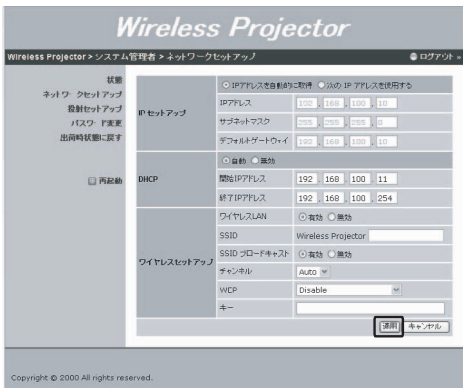
- 設定内容については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 「ネットワークセットアップ」をクリックする



- ネットワークの設定画面が表示されます。

2 設定内容を変更し、[適用]ボタンをクリックする



● 次の項目が変更できます。

項目		内容
IPセットアップ		・DHCP環境のネットワークにプロジェクターを設置する場合、「IPアドレスを自動的に取得」を選択してください。 ・プロジェクターを固定IPで使用する場合、「次のIPアドレスを使用する」を選択し、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。 ・IPアドレスには、0.0.0.0や255.255.255.255など、禁止されているIPアドレスは入力できません。
DHCP		・コンピュータをプロジェクターに接続する場合、プロジェクターがサーバーとなって、IPアドレスをコンピュータに配布することができます。この場合、自動を選択してください。 ・自動を選択した場合、コンピュータ側のTCP/IPの設定は、IPアドレスの自動取得を選んでください。 ・IPアドレスを配布する範囲が、開始IPアドレスと終了IPアドレスに表示されています。このアドレスはプロジェクターのIPアドレスが変わると、自動的に変更されます。 ・プロジェクターがDHCPネットワークに接続され、IPアドレスが割り振りされる場合は、上記のIPアドレスを配布する範囲は無視されます。
ワイヤレスセットアップ		・ワイヤレスLANの有効/無効を選択できます。無効を選択した場合、有線LANで接続するか、プロジェクターのWIRELESSのメニューでNETWORK RESETを実行すると、有効に戻せます。 ・SSIDとして、Wireless Projectorに続く14桁を設定する事ができます。 ・SSIDブロードキャストを有効にすると、Wireless Projectorを自動検索できます。セキュリティ向上の為、無効にする事もできます。無効にした場合は、有線LANで接続するか、プロジェクターのWIRELESSメニューでNETWORK RESETを実行すると、有効に戻せます。
	チャンネル	・北米モデルは11ch、欧州モデルは13chあります。Autoを選ぶと、上記チャンネルの中で最適な電波環境のチャンネルが自動的に選択されます。 ・使用中に電波環境が悪くなった場合は、手動で他のチャンネルに切り替えてください。
	WEP	・コンピュータとプロジェクターのワイヤレス通信に暗号をかけて、セキュリティを向上させることができます。 ・使用する際は、128bit (ASCII: 13 chars)、64bit (ASCII: 13 chars)、128bit (Hex: 13 chars)、64bit (Hex: 13 chars)を選択し、キャラクタ/digit数に応じたキーを設定してください。 ・上記で設定したキーは、ワイヤレス接続する際に、入力を要求されますので、そのときは設定したキーを入力ください。

● 複数のワイヤレスプロジェクターを使用する場合は、「無線セットアップ」の「SSID」を重複しないように設定してください。

3 表示内容を確認し、[OK]ボタンをクリックする

4 再起動する

● 設定した内容が適用されます。
● 再起動には約1分かかります。

用語集

TCP/IP	Transmission Control Protocol / Internet Protocolの略で、インターネットで使われる標準プロトコルです。 プロトコルとは、コンピュータ同士がデータ通信する際のルールのことです。
IPアドレス	ネットワークでデータを送受信するために、それぞれの機器に割り振られたアドレスのことです。同じネットワーク内では、同じIPアドレスを使用することはできません。 IP(Internet Protocol)とは、データを送受信するためのプロトコルのことです。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振る機能のことです。 DHCPサーバーの機能を持った機器がネットワーク内にあると、機器をネットワークに接続したときに、自動的にIPアドレスを取得することができます。
サブネットマスク(Subnet Mask)	ネットワークをサブネットと呼ばれる小さなネットワークで分割して管理するときに、IPアドレスをサブネットごとに区切るための値のことです。
ゲートウェイ(Gateway)	異なるネットワークと接続するための中継点のことです。異なった規格のネットワークに接続するときに、双方のネットワーク間のプロトコルの違いなどを調整して、接続を可能にします。
WEP	Wired Equivalent Privacyの略で、通信データの暗号化規格の1つです。暗号キーを作成して通信する相手だけに知らせることで、通信データが第三者に解読されないようにします。
SSID	Service Set Identifierの略で、無線LANを識別するための識別子のことです。接続するネットワークのアクセスポイントを区別するために、設定する必要があります。 一部メーカーの無線LAN機器においては、[ESSID]や[ネットワーク名]などと表示されている場合があります。

管理画面の使いかた(つづき)

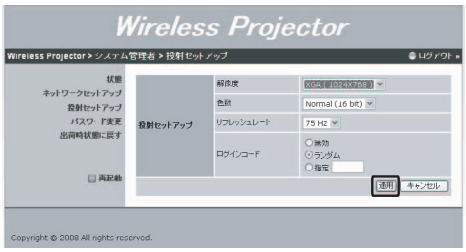
投影の設定を変更する

投写する色数やログインコードを変更することができます。

1 「投射セットアップ」をクリックする

- 投射の設定画面が表示されます。

2 設定内容を変更し、[適用]ボタンをクリックする



- 次の項目が変更できます。

項目	内容
解像度	本機の場合、XGAに固定されています。
色数	投射する映像の色数の設定です。「Normal(16bit)」(65536色)と「High(32bit)」(16777216色)の中から選択できます。
リフレッシュレート	本機の場合、75Hzに固定されています。
ログインコード	プロジェクターにワイヤレス接続するためのログインコードの出し方を設定できます。 ・**無効**:ログインコードを入力しなくても、ワイヤレス接続できます。 ・**ランダム**:プロジェクターが起動するたびにログインコードがランダムに変わります。(初期値) ・**指定**:ログインコードを指定します。認証コードは、4桁の数字です。

3 表示内容を確認し、[OK]ボタンをクリックする

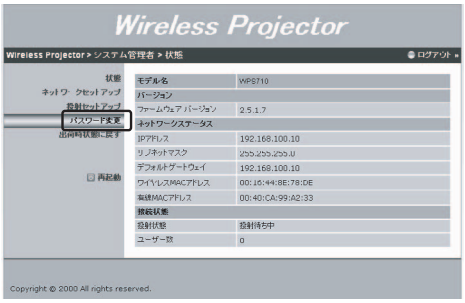
4 再起動する

- 設定した内容が適用されます。
- 再起動には約1分かかります。

パスワードを変更する

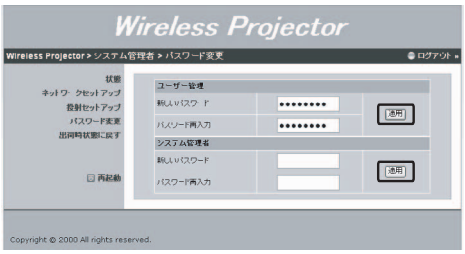
ユーザー管理(chairman)および管理者(admin)のパスワードを変更することができます。

1 「パスワード変更」をクリックする



- パスワードの設定画面が表示されます。

2 「ユーザー管理」または「システム管理者」の欄に、新しいパスワードを入力し、変更する欄の[適用]ボタンをクリックする

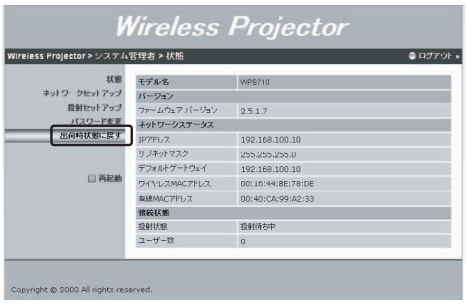


- 変更したパスワードが適用されます。

出荷時の状態に戻す

設定内容を出荷時の状態に戻すことができます。

1 「出荷時状態に戻す」をクリックする



- 確認画面が表示されます。

2 [適用]ボタンをクリックする

3 表示内容を確認し、[OK]ボタンをクリックする

4 再起動する

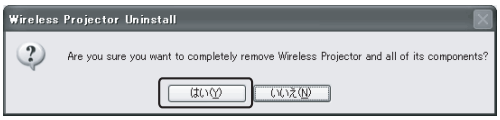
- 設定内容が出荷時の状態に戻ります。
- 再起動には約１分かかります。

接続ソフトウェアをアンインストールする

接続ソフトウェアのアンインストール方法について説明します。

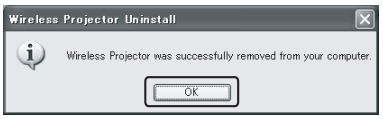
1 スタートボタンをクリックし[すべてのプログラム]→[Wireless Projector]→[Uninstall]の順に選択する

2 [はい]ボタンをクリックする



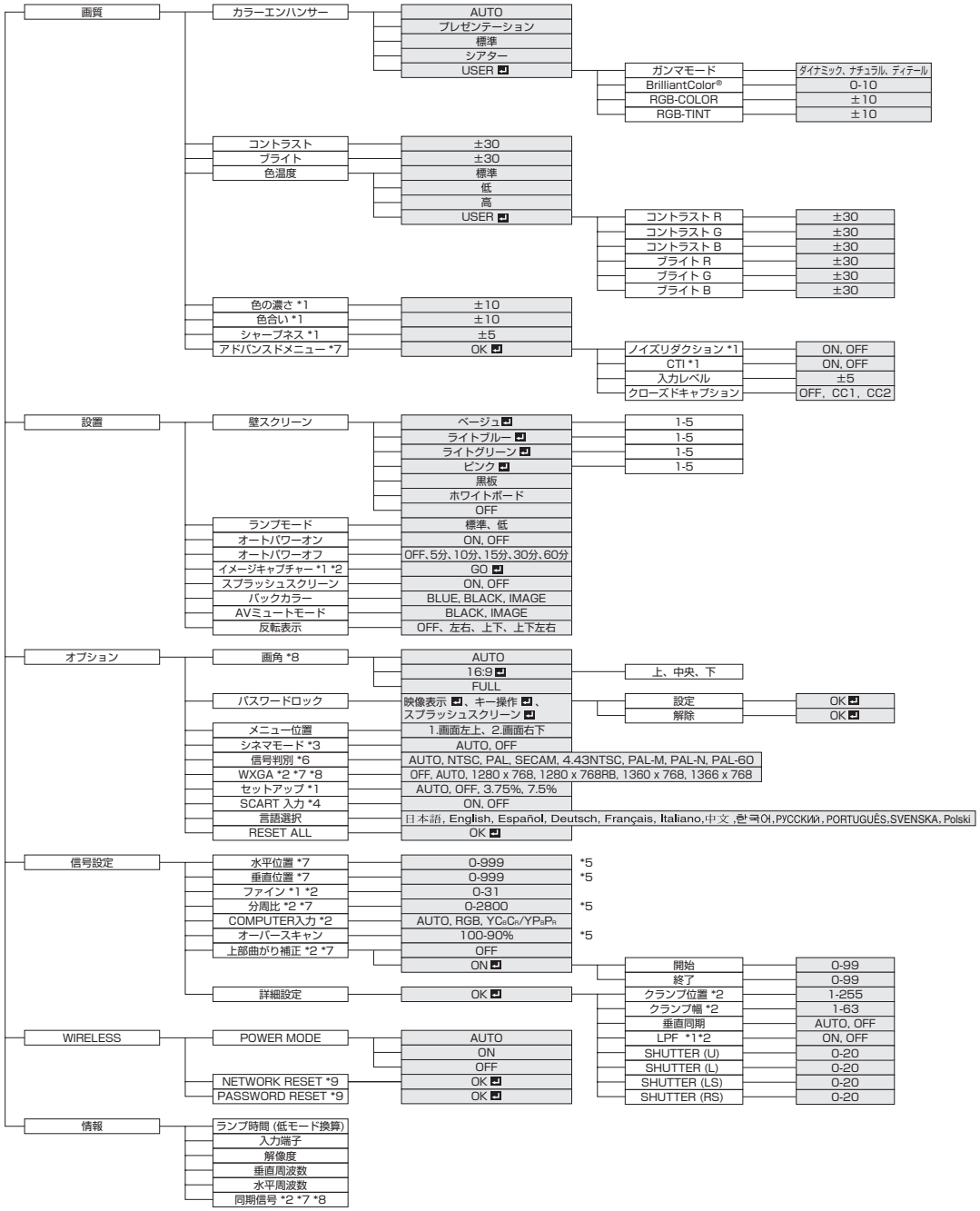
- 接続ソフトウェア「Wireless Projector」のアンインストールが始まります。

3 [OK]ボタンをクリックする



メニューを使って設定する

メニュー遷移図



*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
*2: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。
*3: TV60、TV50、480i、576i信号入力時のみ選択できます。
*4: COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1端子からの入力信号時のみ選択できます。
*5: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。
*6: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時のみ選択できます。
*7: DVI-D(HDCP)端子からの信号入力時は、選択できません。
*8: ワイヤレス接続の信号入力時は、選択できません。
*9: ワイヤレス接続の信号入力時のみ選択できます。

● メニュー画面上の ↵ マークのある項目を確定するためには、項目を選んでからENTERボタンを押す必要があります。

メニューを使って設定する(つづき)

メニュー設定のしかた

画面はオートパワーオフの時間設定を例として説明しています。

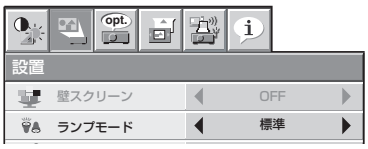
1 MENUボタンを押す

- メニュー選択バーが表示されます。

2 ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ

3 ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

- 希望のメニューが表示されます。



4 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

5 ◀、▶ボタンを押して設定する

メニューを消すときは

6 MENUボタンを数回押す

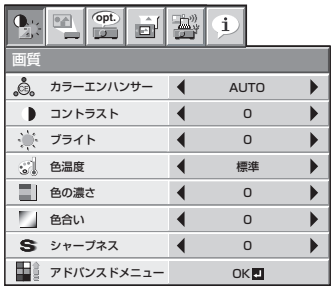
- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- 画質メニュー、信号設定メニュー、および詳細設定メニューの調整は、外部からの入力信号が入力されている状態のみおこなえます。

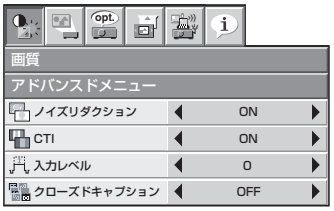
メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

画質メニュー　※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
カラーエンハンサー	AUTO	入力信号に適した設定になります(通常はこれを選びます)。
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	USER ↵	ガンマカーブ、色の濃さ、色合いをお好みに設定できます(48ページ参照)。
コントラスト	±30	映像のコントラストを調整します。(47ページ参照)。
ブライト	±30	映像の明るさを調整します。(47ページ参照)。
色温度	標準、低、高、USER ↵	映像の色温度を調整します。
色の濃さ	±10	映像の色の濃さを調整します。
色合い	±10	映像の色合いを調整します。
シャープネス	±5	映像の鮮鋭度を調整します。
アドバンスドメニュー		
ノイズリダクション	ON/OFF	ノイズが多い映像信号を入力した場合に、映像のノイズやざらつきを少なくすることができます。
CTI	ON/OFF	色境界部分の色にじみを改善します。
入力レベル	±5	接続する機器によっては、映像信号が大きいもの(白つぶれする)や小さいもの(暗くなる)があります。本メニューにてアナログ映像信号の大きさを調整することができます。
クローズド キャプション	OFF	キャプション(字幕情報)を表示しないときに選択します。
	CC1/CC2	キャプション(字幕情報)を表示するときに選択します。





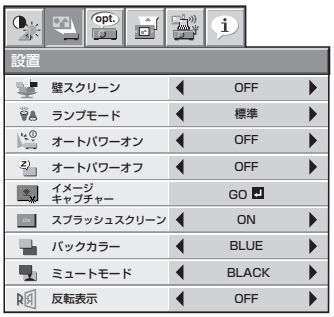
アドバンスドメニュー

- TV50(PAL、SECAM)信号入力時は色合いの調整はできません。
- 色温度は壁スクリーンの設定がOFF以外のとき調整できません。
- COMPUTER 1またはCOMPUTER 2が選ばれているとき、色の濃さ、色合いははたらきません。
- カラーエンハンサーの切り換え時に、画像が乱れることがあります。
- キャプションは、画面にメニューや音量設定、入力切り換えの情報が表示されている間は、表示されません。
- クローズドキャプションは、主に米国のTV放送に使用されているNTSC信号に多重された文字情報を表示する機能です。

メニューを使って設定する(つづき)

設置メニュー

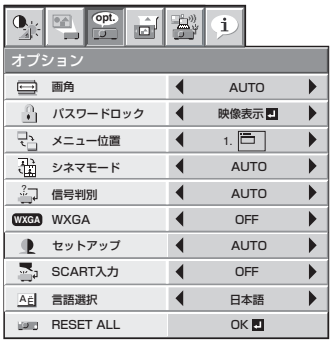
設定項目	設定	はたらき
壁スクリーン	OFF、ベージュ ↵、ライトブルー ↵、ライトグリーン ↵、ピンク ↵、黒板、ホワイトボード	投射する壁の色に合わせて選択します。黒板、ホワイトボード以外は色合いを微調整 (1～5)できます (47ページ参照)。
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
オートパワーオン	OFF	通常はこれを選びます。
	ON	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります、天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF	オートパワーオフは、はたらきません。
	5分、10分、15分、30分、60分	映像信号が未入力のとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。ワイヤレス入力で、Wireless初期画面表示中は、オートパワーオフは働きません。
イメージキャプチャー		スプラッシュスクリーン(起動画面)を変更するときに選択します。
スプラッシュスクリーン	ON	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。
	OFF	スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示しません。
バックカラー	BLUE、BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
	IMAGE	無信号時の背景にスプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。
AV ミュートモード	BLACK、IMAGE	AV MUTEボタンを押したとき、真っ黒な画面を表示するか、スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示するか選択します。
反転表示	OFF	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下左右	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。



- ランプモードは電源を入れた時、最後に使用した設定により「標準」もしくは「低」モードで起動します。ランプ点灯後、約1分の間ランプモードの切り換えはできません。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- オプションメニューのパスワードロックのスプラッシュスクリーンを設定すると、設置メニューのイメージキャプチャーとスプラッシュスクリーンははたらきません。
- バックカラーかAV ミュートモードでIMAGEを選択し、長時間スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示すると画面に痕跡が残ることがあります。
- WIRELESS選択時は、オートパワーオフは動作しません。

オプションメニュー

設定項目	設定	はたらき
画角	AUTO	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。(通常はこれを選びます)
	16:9 ↵	スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投射するときの投射位置を選択します。ENTERキーを押すと上、中央、下に表示位置が変更できます。
	FULL	画面全体に表示したい時に選択します。
パスワードロック	映像表示 ↵、キー操作 ↵、スプラッシュスクリーン ↵	パスワードロック機能のモード切り換え、パスワードロック機能の設定、解除に使います(49ページ参照)。
メニュー位置	1. 画面左下 2. 画面右下	メニューの表示位置を切り換えます。
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。
	OFF	フィルムモード処理は行いません。
信号判別	AUTO、NTSC、PAL他	ビデオ信号のカラー方式を選択します(通常はAUTOに設定します)。
WXGA	OFF/AUTO/1280X768/1280X768RB/1360X768/1366X768	WXGAの信号を入力した時は、このメニューでフォーマットを選択してください。
セットアップ	AUTO	自動的にセットアップ設定を切り換えます。
	OFF	国内盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
	3.75%/7.5%	米国盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
SCART入力	ON、OFF	欧州などで使用されているSCART端子付の機器と接続するときは、ONを選択します。COMPUTER/COMPONENT VIDEO IN-1端子からの入力時のみ有効です。通常はOFFを選択します。
言語選択	12 言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
RESET ALL	OK ↵	ENTERボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします(言語選択、パスワードロックを除く)。

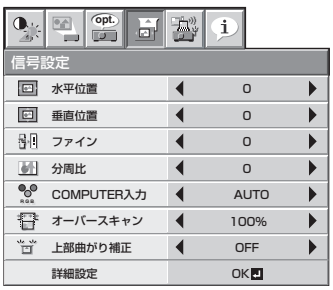


- SCART入力の設定を「ON」にしているとき、SCART信号を入力していた場合は外部のモニタへ出力はできません。
- SCART入力の設定を「ON」にしているとき、通常のコンピュータ信号は映りません。
- 信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。
- RESET ALLには、少し時間がかかることがあります。
- SCART端子付の機器の中には、このプロジェクターと互換性がないものがあります。

信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
水平位置	0-999	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0-999	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0-31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0-2800	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	AUTO	自動的に最適な値に設定します。
	RGB	通常はこちらに合わせます。R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YC_BC_R/YP_BP_R	Y、C_B、C_Rコンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤまたはY、P_B、P_Rコンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤなどで480p(525p)信号を入力するときは、こちらに合わせます。
オーバースキャン	100%-90%	投射映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	OFF	上部曲がりに対する調整を行いません。
	ON ↵	画面に上部曲がりが起こったときに調整します。
詳細設定	OK ↵	ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。



メニューを使って設定する(つづき)

詳細設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。通常、さわらないでください。

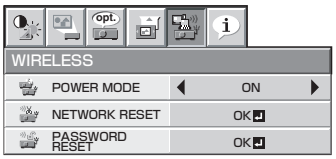
設定項目	設定	はたらき
クランプ位置	1-255	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1-63	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO	通常はこちらに合わせます。
	OFF	映像の動きが不自然なときに合わせます。
LPF	ON、OFF	プログレッシブフィルターをはたらかせるかどうかを選択します。通常はOFFを選択します。
SHUTTER(U)	0～20	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(L)	0～20	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0～20	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0～20	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

LPF(プログレッシブフィルター)について

ご使用になるDVDプレーヤ、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPFをONにすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

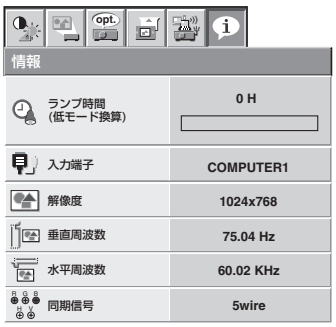
WIRELESSメニュー

設定項目	設定	内容
POWER MODE	AUTO	必要に応じてワイヤレス接続機能を自動的にオン／オフします。
	ON	ワイヤレス接続機能をオンにします。
	OFF	ワイヤレス接続機能をオフにします。ワイヤレス接続がよくない場合や、ワイヤレス接続が不要なプロジェクターは、OFFを選択してください。一度オフにすると、再起動に１分ほど時間がかかります。
NETWORK RESET	OK ↵	ワイヤレス接続機能の設定をリセットします。リセット操作をしてからリセットが完了するまで、１分ほど時間がかかります
PASSWORD RESET	OK ↵	WEB画面で設定したユーザー管理およびシステム管理者のパスワードをリセットします。



情報メニュー

設定項目	内容
ランプ時間 (低モード換算)	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が10時間以内の場合、0Hが表示されます。10時間を超えると、１時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が2250時間を超えた場合、バーは黄色になります。2850時間を超えた場合、赤色になります。 （ランプ寿命は3000時間です。）
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。



映像を調整する

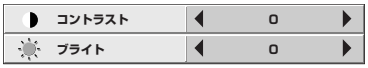
映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは42ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押す

● 「コントラスト」または「ブライト」を選びます。



3 ◀、▶ボタンを押して調整する

コントラスト ..... ▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりとします。

ブライト ..... ▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)の調整をします。

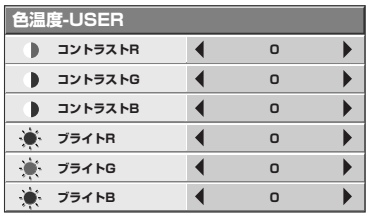
1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは42ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

● 色温度の詳細メニューが表示されます。



5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作5、6を繰り返して設定する

8 MENUボタンを3回押す

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。

● 色温度を高くするには
コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。

● 色温度を低くするには
コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。

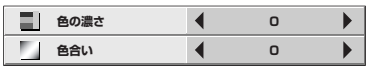
色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは42ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押す

● 「色の濃さ」または「色合い」を選びます。



3 ◀、▶ボタンを押して調整する

色の濃さ ..... ▶ ボタンを押すごとに色が濃くなります。
◀ ボタンを押すごとに色が薄くなります。

色合い ..... ▶ボタンを押すごとに肌色が緑がかります。
◀ボタンを押すごとに肌色が紫がかります。

● 「色の濃さ」、「色合い」は、ビデオ入力時のみ表示されます。
● 「色合い」は、NTSC、4.43NTSC時のみはたらきます。

映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは42ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

● 「シャープネス」は、ビデオ入力時のみ表示されます。

スクリーン(壁色)に合わせた色の調整をする

設置メニューの壁スクリーンの設定を壁の色に合わせた設定にすると、簡易的に壁に投影した映像をより自然な色合いに合わせることができます。ベージュ、ライトブルー、ライトグリーン、ピンクの壁紙や黒板、ホワイトボードに対応しています。黒板以外では、色合いの微調整もできます。

1 設置メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは42ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「壁スクリーン」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して投写する壁の色に近い色を選択する

● スクリーンや白い壁に投写する場合は、「OFF」を選択します。
● 「OFF」または「黒板」、「ホワイトボード」を選択した場合は、色合いの設定はできません。

4 ENTERボタンを押す

5 ◀、▶ボタンを押して色合いを調整する

映像を調整する(つづき)

独自の明るさと色合いを設定する(カラーエンハンサーの詳細説明)

メニューを使って独自の明るさと色合いのバランスを設定します。

1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは42ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「カラーエンハンサー」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

5 ▲、▼ボタンを押して設定する項目を選ぶ

ガンマモード

最適なガンマとランプの電力変調の設定をします。明るさが不足がちな色を明るく強調できます。

ダイナミック ..... 明るい環境でメリハリのきいた映像を映したいときは、明るい色をより明るく強調します。

ナチュラル ..... 必要以上のメリハリより色再現性を重視したいときは、必要十分な明るさと鮮やかな色を実現します。

ディテール ..... 映画、音楽ライブを見るときなど比較的輝度を抑えたいときに選びます。

BrilliantColor®

黄色や肌色など、中間色の色を自然の明るさに設定します。
▶ボタンを押すごとに、明るさが増します。◀ボタンを押すごとに、暗くなります。(「0」に設定した場合、効果はありません。)

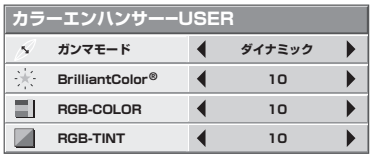
RGB-COLOR

映像の色の濃さを設定できます。▶ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに、色が薄くなります。

RGB-TINT

映像の色合いを設定できます。▶ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。

6 ◀、▶ボタンを押して設定する



- BrilliantColor®を「0」に設定すると、白の色調整ができなくなりますが、色をより忠実に再現することができます。
- ガンマモードの切り換え時に、画像が乱れることがあります。

コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITIONボタンを押してください(17ページ参照)。それでも正しく投写されないときはメニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整します。また、設定した内容は自動的に記録されます。

メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは以下の様に調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
  信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**
  信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼける**
  信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**
  信号設定メニューの分周比を調整します。
- **画面が白く(または黒く)つぶれる**
  信号設定メニューの詳細設定メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。
- **画面の左右にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(LS)またはSHUTTER(RS)を調整します。
- **画面の上下にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細メニューのSHUTTER(U)またはSHUTTER(L)を調整します。
- **画面に上部曲がりがおこる**
  信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON 」にしてENTERボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。
- **映像の動きが不自然**
  信号設定メニューの中の詳細メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
  ※ 信号設定メニューの中の詳細メニューの設定は通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

1 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。

2 操作1を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整:

3 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。

映像表示

電源を入れたとき、起動画面(スプラッシュ画面)が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります(リモコンのボタン操作はできます)。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

スプラッシュスクリーン

メニュー画面のスプラッシュスクリーンおよびイメージキャプチャーの設定ができなくなります。このときスプラッシュスクリーンは自動的にONに設定されます。

パスワードロックの設定のしかた

1 オプションメニューを表示させる

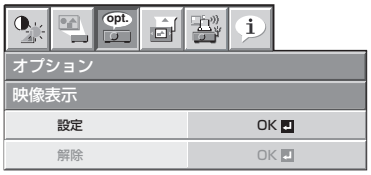
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ◀または▶ボタンを押してモード(映像表示、キー操作またはスプラッシュスクリーン)を切り換える

- すでにパスワードが設定されているときは、モードは切り換わりません。そのときは、ENTERボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定しなおしてください。

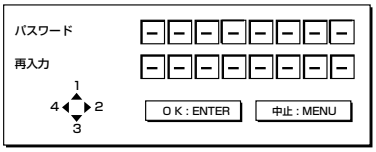
4 ENTERボタンを押す

- パスワードロック画面(設定用)が表示されます。



5 ENTERボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



6 ▲、▼、◀、または▶ボタンを押して4〜8桁のパスワードを入力する

(▲=1, ▶=2, ▼=3, ◀=4)

7 ENTERボタンを押す

8 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する

9 ENTERボタンを押す

- 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENUボタンを押します。

パスワードロックの解除のしかた

1 オプションメニューを表示させる

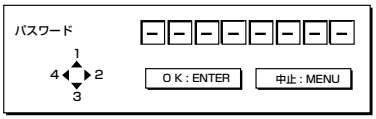
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ENTERボタンを押す

- パスワードロック画面(解除用)が表示されます。

4 ENTERボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



5 ▲、▼、◀、または▶ボタンを押して4〜8桁のパスワードを入力する

(▲=1, ▶=2, ▼=3, ◀=4)

6 ENTERボタンを押す

- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENUボタンを押します。

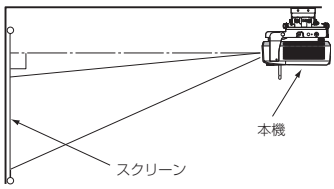
パスワードを忘れたときは

本体操作パネルのMENUボタンおよびENTERボタンを同時に3秒以上押して、パスワードを解除してください。

設置工事を依頼するときは・お掃除のしかた

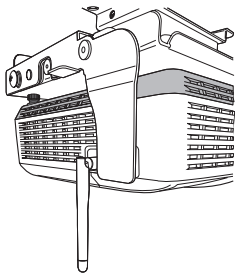
天吊りして正面から映像を見る場合

天吊りにする場合は別売の専用天吊り金具を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷等については保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示を「上下左右」にしてください。くわしくは44ページをご覧ください。
- ブレーカなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。

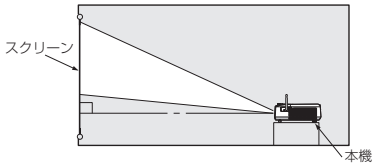
アンテナを取り付けるときのご注意



天吊りの場合にアンテナを取り付けるときは、必ず下向きにしてください。アンテナを上向きにすると、正しく設置できません。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示を「左右」にしてください。くわしくは44ページをご覧ください。

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶剤（ベンジン、シンナーなど）やスプレーを使用しないでください。

ランプ点灯の際、可燃成分に引火して火災や故障の原因になることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

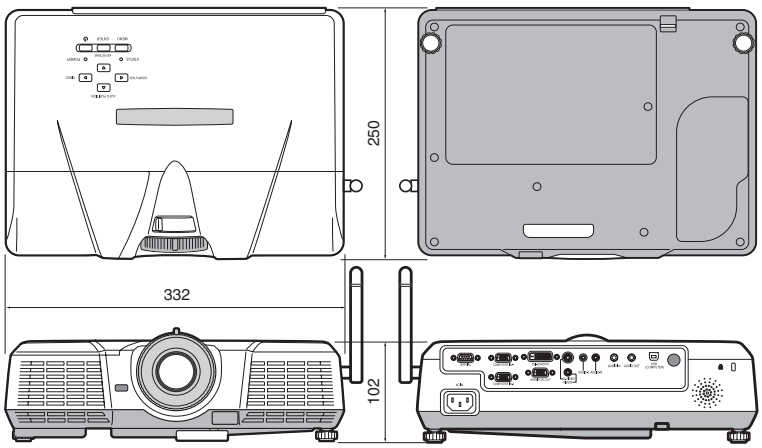
レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品（ブローワーブラシなど）でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

寸法図(参考)

単位はmm



光源ランプを交換する

本機には、DMDの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。

本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプは、必ず別売の専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

光源ランプを交換する場合、別売の専用光源ランプに付属されているランプユニット交換用工具をご使用ください。

LVP-XD530用光源ランプ
形名:VLT-XD520LP

⚠警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持っていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがのおそれがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約90秒間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって充分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持っておこなってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプを交換する場合、別売の専用光源ランプに付属されているランプユニット交換用工具以外は使用しないでください。他の工具を使用すると故障の原因となります。

⚠注意

本機は光源ランプの使用時間がシャットダウン予告時間※1を越えるとSTATUSインジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に1分間メッセージが表示されます。シャットダウン警告時間※1を越えると以後15時間おきに画面上に1分間ランプ交換メッセージ(LAMP EXCHANGE)が表示されます。また、光源ランプの使用時間がシャットダウン時間※1を越えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換するまで使用することができなくなります。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプは個体差や使用条件によって破裂や不点灯に至るまでの時間はそれぞれの高圧水銀ランプで大きな差があります。従いまして、使用開始後まもない場合でも破裂することがあります。
  また、寿命が近づくと破裂する可能性が高くなります。
- シャットダウン予告が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも新しい光源ランプに交換することをお勧めします。
- 高圧水銀ランプ破裂のとき、ランプBOX部内、外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用のVLT-XD520LPをご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

※1 ランプシャットダウンまでの使用時間(ランプモード「低」使用時)。

	LVP-XD530
シャットダウン予告時間	2250時間
シャットダウン警告時間	2850時間
シャットダウン時間	3000時間

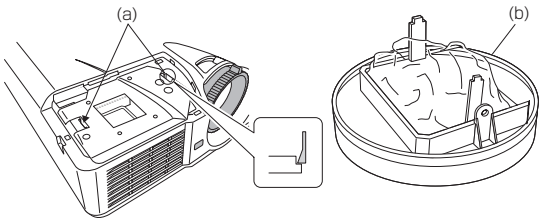
注) ランプモードを「標準」にした場合のシャットダウン時間は2000時間です。(「低」にした場合よりも時間が短くなります)。

ランプ交換のしかた

ランプユニットはセット本体内のツメ(a)2ヶ所で固定されているため、ランプユニット交換用工具(b)を使用しないとランプユニットの取りはずしはできません。

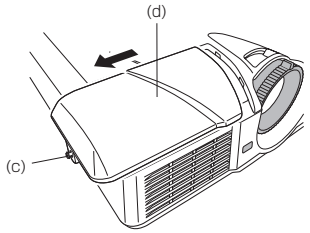
無理やりランプユニットを取りはずそうとするとランプユニットとセット本体を破損させてランプユニットの交換ができなくなりますのでご注意ください。

新しいランプユニットを取り付ける場合は、ランプユニット交換用工具を使用しないでも取り付けられます。



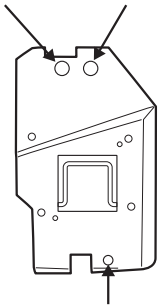
光源ランプを交換する(つづき)

1 ネジ(c)をはずし、ランプカバー(d)をスライドしてはずす

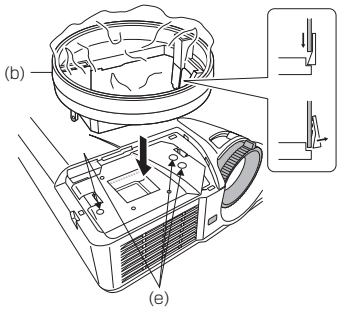


- 本体が動かないように安定させてから作業してください。

2 下図の矢印(→)に示す穴の中にある3ヶ所のネジ(e)をゆるめておき、ランプ交換用工具(b)を取り付ける

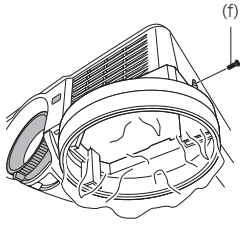


注) 光源ランプを交換する場合、矢印で示す穴の中のネジ以外をはずさないでください。故障の原因となります。

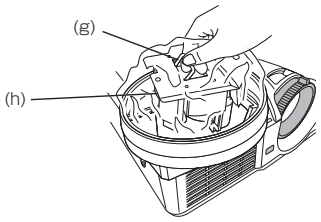


- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

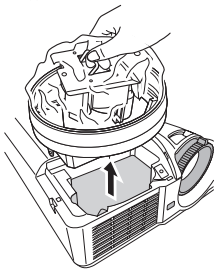
- **天吊りの場合:**ランプユニットの落下防止のためランプユニット交換用工具と本体をランプユニット交換用工具ネジ(f)で固定してください。ネジで固定しない場合ランプユニットが落下しけが等の原因となりますので必ずネジで固定してください。



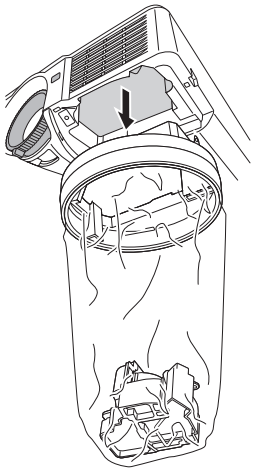
3 取っ手(g)を持ってランプユニット(h)を取りはずす



注) ランプユニットが袋に入った状態でランプユニット交換用工具をはずしてください。



- **天吊りの場合:**取っ手(g)を持ってランプユニット(h)を取りはずし、ランプユニットが袋に入った状態でランプユニット交換用工具ネジ(f)をゆるめてランプユニット交換用工具をはずします。



- ランプユニットを本体から取りはずす際はゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合は急に抜き出しますとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取りはずしたランプユニットに水などをかけたり、お子様の手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

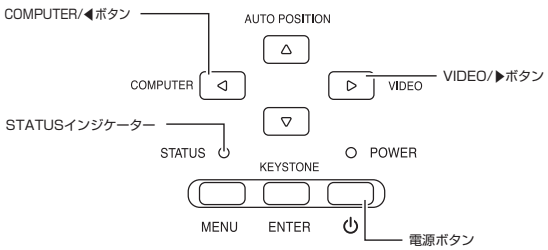
4 新しいランプユニットを取り付け、ランプカバー(d)を元のように取り付ける

- ランプカバーの取り付けが不完全ですと、POWERインジケーターが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

5 電源プラグをコンセントに接続する

6 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および電源ボタン(⏻)を同時に押す



- 3つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- STATUSインジケーターが赤色に2回点滅し、リセットされたことをご確認ください。
- ランプ使用時間がシャットダウン時間※を越えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプ交換をしていないときは使用時間をリセットしないでください。

※ シャットダウン時間については51ページ参照。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

<table>
<tr><th>現象</th><th>確認/処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>
● インジケーターの光りかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>○
消灯</td><td>○
消灯</td><td>● 電源コードを本機に接続する。
● 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">☼
赤点灯</td><td>○
消灯</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄ ☼
オレンジ点滅</td><td>● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。</td></tr>
<tr><td>○ ⇄ ☼
緑点滅</td><td>● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続した時、約1分間点灯できなくなる場合があります。
● 光源ランプを消灯したあと、約1分間は再点灯できません。
● 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>☼
赤点灯</td><td>● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">☼ ⇄ ☼
赤/緑点滅</td><td>○
消灯</td><td>● ランプカバーを取り付ける。</td></tr>
<tr><td>☼
点灯
または
○ ⇄ ☼
点滅</td><td>● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>
● AV MUTEボタンを押してAVミュートの設定をはずす。
● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● オプションメニューのSCART入力の設定を「OFF」にする(45ページ参照)。
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● ランプカバーが閉まっているか確認する(52ページ参照)。
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。
</td></tr>
<tr><td>電源が切れる</td><td>
● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。
(このときSTATUSインジケーターはオレンジ点滅しています)
→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。
1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ。(STATUSインジケーターが消灯するまで待つ)
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. 約10分ほど待つ。
4. 電源プラグをコンセントに接続する。
5. 電源ボタンを押す。
● STATUSインジケーターが赤点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。
● オートパワーオフが設定されていませんか。
● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。
</td></tr>
<tr><td>パスワード入力画面が表示される</td><td>
● オプションメニューのパスワードロック機能で「映像表示」が設定されています。
→パスワードを入力する、またはプロジェクターの管理者に問い合わせる。
</td></tr>
</table>

映像が映らない

現象	確認/処置
「入力信号がありません」が表示される	● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。(特にノートタイプのコンピュータの場合) ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● RGB接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。

ワイヤレス接続できない

現象	確認/処置
・コンピュータのワイヤレス機能が使えない ・コンピュータのワイヤレス接続のアイコンが出ない ・「利用できるワイヤレス ネットワークの表示」で「Wireless Projector」が表示されない ・「No any wireless card can be used」が表示される	● コンピュータによっては、ワイヤレスの電源スイッチが付いているものがありますので、スイッチをONにしてください。 ● コンピュータの「ワイヤレス接続」のプロパティが無効になっている場合、「有効」にする。 ● BIOSでワイヤレス機能の有効/無効を選択できる機種もありますので、くわしくは、お手持ちのコンピュータのマニュアルをご覧ください。 ● プロジェクターのWIRELESSメニューで、NETWORK RESETを実行する。 ● プロジェクターのWIRELESSメニューで、POWER MODEを「ON」にする。 ● アンテナを取り付ける。
「ネットワークまたはファイアウォールの設定の関係で、クライアントソフトが本体に接続できません。…」が表示される。	● コンピュータの「コントロールパネル」から「Windows ファイアウォール」を開き、[例外]タブの「プログラムおよびサービス」一覧で、「Wireless Projector」にチェックがついているか確認する。
利用可能なアクセスポイントに本機のSSID名が表示されない	● プロジェクターの入力を「WIRELESS」に切り換える。 ● プロジェクターのWIRELSS関連のMENUで、POWER MODEがONもしくはAUTOにする。 ● 電波状態が悪いときは、本機とコンピュータと近付けるか、本機とコンピュータの間に障害物がないか確認する。 ● ネットワークセットアップでSSIDブロードキャストを有効にする。
・ログインできない。 ・Wireless ProjectorのWeb画面が表示されない。 ・ログイン画面でワイヤレスプロジェクターのIPが0.0.0.0になる。 ・「"No Projector Found" or "Network is not available"」が表示される。	● セキュリティソフトによっては、フィッシングサイトへのアクセス防止等の機能が入っています。当プロジェクターをご利用の間は、当該機能をオフにしてください。 ＜ PC のIP が自動取得の場合＞ ・ コンピュータの「ワイヤレス接続」のプロパティを表示し、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のプロパティで「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されているかを確認する。 ・ Web のシステム管理者画面でネットワークセットアップの設定を変更している場合は、変更した内容に合わせてコンピュータの「ワイヤレス接続」のプロパティを変更する。 ・ プロジェクターのワイヤレスのメニューで、NETWORK RESET を実行する。 ・ プロジェクターのワイヤレスのメニューで、POWER MODE をON にする。 ＜ PC が固定IP の場合＞ ・ プロジェクターのServer IP とコンピュータのIP アドレスが異なることを確認する。 ・ プロジェクターのServer IP とコンピュータのIP アドレスの上3 桁を同じにする。 例)Projector Server IP ; 192.168.100.10 コンピュータ ; 192.168.100.15 ● 正しいWeb アドレスが入力されていることを確認する。 (アドレスにwww が入っていないことを確認する) ● プロジェクターのワイヤレスのメニューで、NETWORK RESET を実行する。 ● プロジェクターのワイヤレスのメニューで、POWER MODE をON にする。 ● 他のローカルエリア接続を無効または切断する。特に、コンピュータをインターネットに接続している間は、プロジェクターには接続できません。
WEBブラウザを立ち上げても、自動的にWireless ProjectorのWEBページが表示されない	● コンピュータの設定が固定IPのときやDHCP環境下でご使用の場合、Wireless初期画面に表示されたServer IPを入力する。 ● WEBブラウザの[ツール]メニュー→[インターネット]→[オプション]→[セキュリティ]→[レベルのカスタマイズ]で、「ページの自動読み込み」を有効にする。
接続ソフトウェアがインストールできない	● 管理者権限でログインする。
ワイヤレス接続できない	● ネットワークブリッジを使用していないか確認する。

故障かなと思ったら(つづき)

映像がおかしい

現象	確認/処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITIONボタンを押す。 ● コンピュータの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する(45ページ参照)。 ● WXGA信号を入力している場合は、オプションメニューのWXGAの設定をご確認ください。
映像がひずむ	● 本機と投写面が直角になるように調整する(17ページ参照)。
映像が暗い	● 画質メニューのブライトの調整をする(47ページ参照)。 ● レンズキャップをはずす。 ● ランプを交換する(51ページ参照)。
映像がぼやける	● フォーカスを合わせる。(15、23、26ページ参照) ● レンズをきれいに拭く。 ● レンズキャップをはずす。 ● リモコンの◀、または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする(47ページ参照)。 ● 本機と投写面が直角になるように調整する(17ページ参照)。
画面が焼き付く (残像がある)	● 均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。(ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。)
映像に光る点が見える 映像に黒い点が見える	● DLPプロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 (一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。 99.99%以上は有効な画素数です。)
映像に細かい縞模様 が見える	● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。 ● ご使用になるDVDプレーヤ、ゲーム機、パソコンによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPFをONにすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。
映像(および音声)が 乱れる	● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては、台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	● 信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が正しく設定されているか確認する(45ページ参照)。 ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
色合いが異なる	● 本機を2台以上投写し比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。 ● テレビやパソコンのモニタなどと比較した場合、色再現範囲の違いなどにより色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
コンピュータの動画部分 だけが表示できない	● コンピュータの問題です。コンピュータメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	● コンピュータの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる(60ページ参照)。 コンピュータの出力解像度の変更については、コンピュータメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。 このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。
映像がちらつく	● 電源ボタンまたはリモコンのONボタンを押したあと、または、ランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。 ● 入力切り換え、Auto position、カラーエンハンサーの切り換え時等に一時的に画像がちらつくことがありますが、故障ではありません。

その他

現象	確認/処置
排気口から温風が出る	● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることがありますが故障ではありません。
外部音声出力が出ない	● 音量設定が小さくなっていないか確認する。
メニュー設定ができない	● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
画面上に「温度異常！！」が表示(点滅)がされる	● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。
⃠マークが表示される	● 動作しない操作をおこなったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない・効きにくい	● 電池が消耗してないか確認する(2ページ参照)。 ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する(12ページ参照)。 ● リモコンの操作範囲からはずれていませんか(12ページ参照)。
本体操作パネルのボタン(電源ボタンを除く)がはたらかない。	● オプションメニューのパスワードロック機能で「キー操作」が設定されてます。 →設定を解除する。
異音がする	● カラーホイールが高速回転しているため、まれに金属音がすることがありますが故障ではありません。

ランプ交換のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認/処置
電源が入らない	● ランプカバーをきちんと取り付ける。 ● ランプ使用時間をリセットする(53ページ参照)。
STATUSインジケーターが点滅する	● ランプ使用時間をリセットする(53ページ参照)。

索引

ア行
アフターサービス 61
色合い ..... 43、47
色温度 ..... 43、47
色の濃さ ..... 43、47
オートパワーオフ 44
オートパワーオン 44
オプションメニュー 45

カ行
画質メニュー 43
乾電池を入れる 2
ガンマモード 48
クランプ位置 ..... 46、48
クランプ幅 ..... 46、48
クローズドキャプション 43
言語選択 ..... 35、45
コントラスト ..... 43、47
コンピュータとの接続 13

サ行
上部曲がり補正 ..... 45、48
シャープネス ..... 43、47
仕様 59
詳細設定メニュー 46
信号設定メニュー 45
信号判別 45
接続
　コンピュータ 13
　ビデオ機器 21
　DVDプレーヤ 21
　ハイビジョンデジタルチューナー 21
　有線LAN 30
　ワイヤレス 25
接続できる信号の種類 60
設置メニュー 44

タ行
台形補正 18
投写角度の調整 17
投写距離 16
ダイレクトパワーオフ ..... 16、23

ハ行
パスワードロック 49
バックカラー 44
反転表示 44
ビデオ機器との接続 21
ピントの調整 ..... 15、23、26
付属品 2
ブライト ..... 43、47
分周比 ..... 45、48
別売品 59

マ行
メニュー位置 45
メニュー設定のしかた 42

ヤ行
有線LAN 30

ラ行
ランプカバー 52
ランプの交換 51
ランプモード 44
リモコン受光部 12

ワ行
ワイヤレス接続 25

A
ASPECTボタン ..... 11、24
AUTO POSITIONボタン ..... 10、11、17、48
AV MUTE ..... 11、19

C
COMPUTER IN端子(1と2) ..... 10、13、21
COMPUTERボタン ..... 10、15、23、26

D
DVDプレーヤとの接続 21
DVI-D(HDCP)端子 ..... 10、13、22
DVIボタン ..... 11、15

E
ENTERボタン ..... 10、11、42

F
FREEZEボタン ..... 11、24

K
KEYSTONEボタン ..... 10、11、18

M
MAGNIFYボタン ..... 11、20
MENUボタン ..... 10、11、42
MONITOR OUT端子 ..... 10、14

P
POWERインジケーター
..... 10、15、22、25、26、54、裏表紙

S
STATUSインジケーター
..... 10、16、23、51、53、54、裏表紙
S-VIDEO IN端子 ..... 10、21

V
VIDEOボタン ..... 10、23
VOLUMEボタン ..... 11、15、16、23、26
VIDEO IN端子 ..... 10、21

W
WIRELESSボタン ..... 11、26

端子について

COMPUTER IN端子(1と2)(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

MONITOR OUT端子(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	–
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	–
4	–	12	–
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	–
8	GND		

SERIAL(RS232C) 端子(D-SUB 9ピン)

PIN No.	名称	I/O
1	–	–
2	TXD	入力
3	RXD	出力
4	–	–
5	GND	–
6	–	–
7	–	–
8	–	–
9	–	–

※ コンピュータで本機を制御するときに使用します。
シリアルケーブルはクロスタイプのものをご使用ください。
くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

DVI-D (HDCP)端子(DVI--D 24ピン)

PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様	PIN No.	仕　様
1	TMDS DATA2-	9	TMDS DATA1-	17	TMDS DATA0-
2	TMDS DATA2+	10	TMDS DATA1+	18	TMDS DATA0+
3	TMDS DATA2 SHIELD-	11	TMDS DATA1 SHIELD-	19	TMDS DATA0 SHIELD-
4	–	12	–	20	–
5	–	13	–	21	–
6	DDC Clock	14	+5V Power	22	TMDS Clock Shield
7	DDC Data	15	GND (for +5V)	23	TMDS Clock +
8	–	16	Hot Plug Detect	24	TMDS Clock -

仕様（仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください。）

形式			LVP-XD530
表示方式			DLP®（単板DLP®チップ）
光学方式			時分割色分離・合成方式
表示素子	サイズ		0.55形×1(枚)、アスペクト比4：3
	画素数		786,432画素(1024×768)×1枚
投写レンズ	焦点距離		f=18.4～22.0mm
	F値		F2.5～2.8
光源			高圧水銀ランプ　280W
画面サイズ(投写距離)			40形～300形(ワイド端のみ)、1.3～9.9m
再現色数			1,677万色(フルカラー)
音声出力			2W、モノラル
スピーカ			口径φ4.5cm、個数1
表示可能解像度	コンピュータ信号入力時	最大入力解像度	1280×1024ドット(圧縮表示)
		パネル解像度	1024×768ドット
	ビデオ信号入力時		表示可能信号：NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC水平解像度：600TV本(S端子入力時)
コンピュータ入出力	コンピュータ入力	映像入力	ミニD-Sub15ピン(RGBまたはY/P_B/P_RまたはY/C_B/C_R信号対応)、2系統 ・ RGB：0.7Vp-p 75Ω/1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・ Y：1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・ P_BP_R/C_BC_R：0.7Vp-p 75Ω ・ HD/CS：TTLレベル(負または正極性) ・ VD：TTLレベル(負または正極性) DVI-D(HDCP)端子、1系統
		有線LAN端子	RJ-45
		ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/11g
		音声入力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統 ・ 350mVrms 10kΩ以上
	コンピュータ出力	映像出力	ミニD-Sub15ピン(RGB/YPBPR/YCBCR出力)、1系統 ・ コンピュータ入力と同一の信号形式で出力
		音声出力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(ビデオ出力と共有)
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力	RCA端子、1系統 ・ 1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) S端子、1系統 ・ Y：1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・ C：0.286Vp-p 75Ω(バースト信号)
		音声入力	RCA端子×2(L、R)、1系統 ・ 350mVrms 10kΩ以上
	ビデオ出力	音声出力	φ3.5mmステレオミニジャック、1系統(コンピュータ出力と共有)
制御入出力/その他			SERIAL(RS232C)端子(D-Sub 9ピン)：1系統(プロジェクター本体制御用) USB端子(Bタイプ)：1系統(ページアップ・ダウン用)
使用温度(使用湿度)			使用温度範囲：5～35℃(使用湿度範囲：30～90%)
電源			AC100V、50/60Hz
消費電力			3.9A 390W
外形寸法			W(幅)332mm×H(高さ)102mm×D(奥行き)250mm
質量			3.4kg

「JIS C 61000-3-2 適合品」
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

スクリーン	形名 SCR-A50P
	形名 SCR-A60P
	形名 SCR-A80P
光源ランプ	形名 VLT-XD520LP

仕様(つづき)

接続できる信号の種類

信号表示	解像度 (H × V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	解像度 (H × V)	
TV60, 480i (525i)	-	15.73	59.94	1024 x 768	*2
TV50, 576i (625i)	-	15.63	50.00	1024 x 768	*2
1080i 60 (1125i 60)	-	33.75	60.00	1024 x 576	*2 *3
1080i 50 (1125i 50)	-	28.13	50.00	1024 x 576	*2
480p (525p)	-	31.47	59.94	1024 x 768	*2 *3
576p (625p)	-	31.25	50.00	1024 x 768	*2 *3
720p 60 (750p 60)	-	45.00	60.00	1024 x 576	*2 *3
720p 50 (750p 50)	-	37.50	50.00	1024 x 576	*2
CGA84	640 x 400	37.86	84.13	1024 x 640	
CGA85	640 x 400	37.86	85.08	1024 x 640	
VGA60	640 x 480	31.47	59.94	1024 x 768	*3
VGA72	640 x 480	37.86	72.81	1024 x 768	
VGA75	640 x 480	37.50	75.00	1024 x 768	
VGA85	640 x 480	43.27	85.01	1024 x 768	
SVGA56	800 x 600	35.16	56.25	1024 x 768	
SVGA60	800 x 600	37.88	60.32	1024 x 768	*3
SVGA72	800 x 600	48.08	72.19	1024 x 768	
SVGA75	800 x 600	46.88	75.00	1024 x 768	
SVGA85	800 x 600	53.67	85.06	1024 x 768	
XGA60	1024 x 768	48.36	60.00	1024 x 768	*3
XGA70	1024 x 768	56.48	70.07	1024 x 768	
XGA75	1024 x 768	60.02	75.03	1024 x 768	
XGA85	1024 x 768	68.68	85.00	1024 x 768	
SXGA70a	1152 x 864	63.85	70.01	1024 x 768	
SXGA75a	1152 x 864	67.50	75.00	1024 x 768	
WXGA60	1280 x 768	47.77	59.87	1024 x 614	*1
WXGA60a	1280 x 800	49.70	59.81	1024 x 640	
WXGA60b	1360 x 768	47.71	60.01	1024 x 578	*1
WXGA60c	1366 x 768	47.50	59.75	1024 x 575	*1 *2
SXGA60b	1280 x 960	60.00	60.00	1024 x 768	
SXGA60	1280 x 1024	63.98	60.02	960 x 768	*3
MAC13	640 x 480	35.00	66.67	1024 x 768	
MAC16	832 x 624	49.72	74.55	1024 x 768	
MAC19	1024 x 768	60.24	75.02	1016 x 768	
HP75	1024 x 768	62.94	74.92	1024 x 768	
SUN66a	1152 x 900	61.85	66.00	984 x 768	
SUN76a	1152 x 900	71.81	76.64	984 x 768	

*1　入力信号がWXGA60、WXGA60b、またはWXGA60aの場合、オプションメニューのWXGAにて適切な画面サイズを選択してください。
*2　部分拡大機能には対応していません。
*3　DVI-D端子に対応しています。

- 本機の最大解像度は1024×768ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります。(このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください。)
- SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080iはハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480i, 576i, 480p, 576pの5線(R, G, B, H, V)および4線(R, G, B, CS)出力機器について本機は対応していません。
- TV60とTV50はそれぞれ480iと576iと等価です。VIDEO端子あるいはS-VIDEO端子から入力された場合信号表示はTV60あるいはTV50となります。コンポーネント端子から入力された場合、表示は480iあるいは576iとなります。

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

● 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から１年間です
ただし、光源ランプは１年以内で500時間まで

● ランプ使用時間の確認方法
スタンバイ状態で、▲、▼ボタンを押しながら、電源ボタン(⏻)を押したとき、STATUSインジケーターが約5秒間、緑色に点灯すれば、ランプ使用時間は500時間以内です(ランプ使用中は点灯しません)。

■補修用性能部品の最低保有期間

● 当社は、データプロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。
● 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
● 光源ランプなどの消耗部品の他に、DMD、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間(毎日6時間以上)ご使用されると、１年未満であっても修理・交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンター(ホームシアターの場合は、お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」)にご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

● 三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◎ **「故障かなと思ったら」**の手順にしたがって、お調べください。
● なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

◎ **保証期間中は**
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。

◎ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎ **修理料金は**
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

◎ **ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名　三菱データプロジェクター
2. 形　　名　LVP-XD530
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に)
5. ご　住　所　(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは
全国どこからでもおかけいただける
三菱電機テクニカルサポートセンター
0120-32-7440 (無料)
Tel:075-353-0654
(携帯電話、PHSでお問い合わせの場合)
■受付時間　平日・土日・祝日(弊社指定休日除く)
午前９：00～12：00/午後１：00～9：00
FAX　075-353-0685
E-mail　pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する詳細情報や応用例などを、WWWサイトでもご提供しています。
www.mitsubishielectric.co.jp/projector/business

■ 購入、買替えのご相談はこちらへ。
購入・買替え相談窓口
三菱電機株式会社（本社窓口）
TEL:03-3218-6107 (有料)
受付時間 平日 午前9:00～12:00／午後1:00～5:30(土日・祝日・弊社指定休日除く)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせいただきました窓口にご連絡ください。

インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが２つあります。インジケーターの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

正常時

POWER	STATUS	状態	備考
☼ 赤点灯	○ 消灯	電源スタンバイ状態	
	○ ⇄ ☼ 緑点滅	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
☼ 緑点灯	○ ⇄ ☼ 緑点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	☼ 緑点灯	電源「入」（通常時）	

異常時

POWER	STATUS	状態	処置
☼ 緑点灯 または ☼ 赤点灯	○ ⇄ ☼ オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ・吸気口または排気口をふさいでいる。 ・暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している。	・ふさいでいる物をとる。 ・設置場所を変える。
☼ 赤点灯	○ ⇄ ☼ 緑点滅	保護回路がはたらいている または ランプが異常	・STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す 上記の操作を数回おこなっても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
☼ 緑点灯	☼ ⇄ ☼ 赤/緑点滅	ランプ交換表示※1(電源が「入」のとき)	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
☼ 赤点灯	○ ⇄ ☼ 赤点滅	ランプ交換表示※1(電源が「切」のとき)	
	☼ 赤点灯	ランプ交換表示※2	
☼ ⇄ ☼ 赤/緑点滅	○ 消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる
	☼ 点灯 または ○ ⇄ ☼ 点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

※1　約2250時間使用時
　　ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2　約3000時間使用時
　　ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は約2000時間）。

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

このデータプロジェクターの形名はLVP-XD530です。

愛情点検

● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

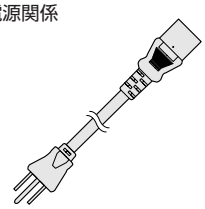
このような症状はありませんか	ご使用中止
● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コゲくさい臭いがする。 ● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。 ● その他の異常・故障がある。	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

データプロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

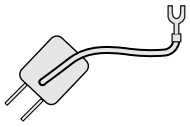
三菱電機株式会社
京都製作所　〒617−8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

付属品

■電源関係

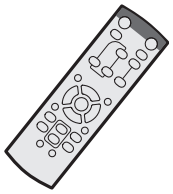


電源コード

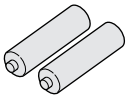


変換アダプタ

■リモコン関係

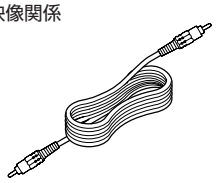


リモコン

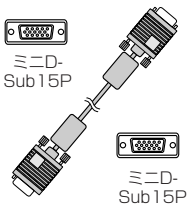


単三乾電池（2本）

■映像関係



ビデオケーブル



RGB信号ケーブル

■ワイヤレス接続関係

アンテナ

■その他

・レンズキャップ
・取扱説明書／クイックスタートアップ
・保証書
・三菱DIAMOND VIEW CLUB ご案内
・ソフトキャリングケース
・ワイヤレス接続クイックリファレンス

故障かなと思ったら－映像が映らない

現　象	確認／処置
電源が入らない	● インジケーターの光りかたを確認する。

POWER	STATUS	処置
○ 消灯	○ 消灯	● 電源コードを本機に接続する。 ● 電源プラグをコンセントに接続する。
☼ 赤点灯	○ 消灯	● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 1. 電源プラグをコンセントから抜く。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 電源プラグをコンセントに接続する。 4. 電源ボタンを押す。
	○ ⇄ ☼ オレンジ点滅	● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。
	○ ⇄ ☼ 緑点滅	● STATUSインジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。 ● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続した時、約1分間点灯できなくなる場合があります。 ● 光源ランプを消灯したあと、約1分間は再点灯できません。 ● 数回電源ボタンを押す。
	☼ 赤点灯	● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。)
☼ ⇄ ☼ 赤/緑点滅	○ 消灯	● ランプカバーを取り付ける。
	☼ 点灯 または ○ ⇄ ☼ 点滅	● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

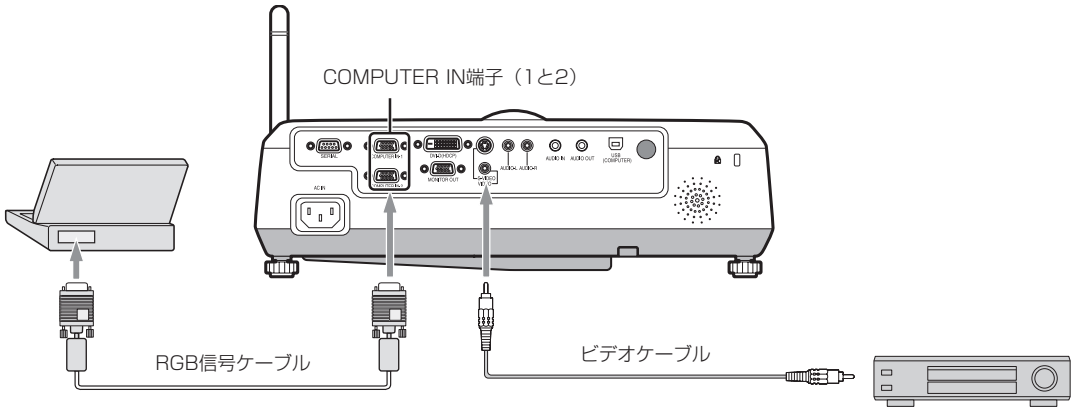
映像が映らない	● AV MUTE ボタンを押してAV ミュートの設定をはずす。 ● ランプ点灯に1 分程度かかる場合があります。 ● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。 ● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。 ● オプションメニューのSCART入力の設定を「OFF」にする。 ● 吸気口が汚れていないか確認する。 ● ランプカバーが閉まっているか確認する。 ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB 信号増幅器を合わせてご使用ください。 ● レンズキャップをはずす。

MITSUBISHI

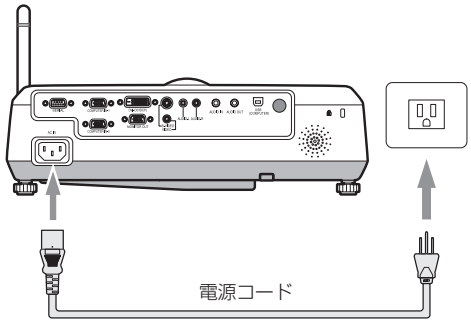
三菱データプロジェクター　　形名：LVP-XD530

クイックスタートアップ

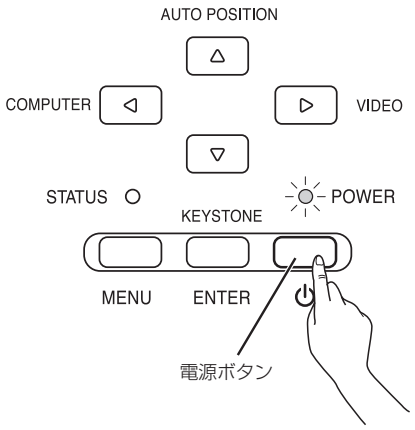
1



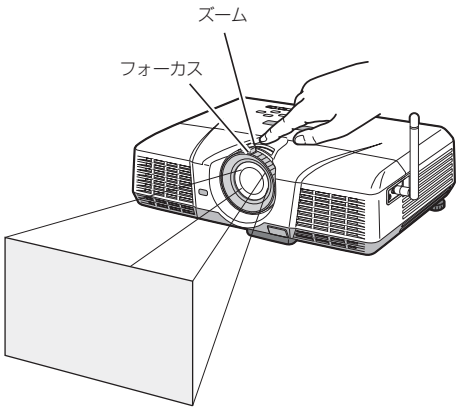
2



3



4



5

ノートタイプのコンピュータの映像が映らないとき

Fn キー＋ F1 ～ F12 キーのいずれか（機種によって異なる）を押す。

PRINTED IN CHINA